

丸山兼也君 追悼文集

別冊資料編（丸山新聞など）

めでたく青木香保里さんと

責任者 兼也、巻7
新宿区早稲田434番208

「STO BENE！」

il sig. MARUYAMA

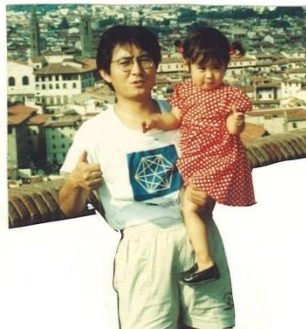
イタリア中部の古都フィレンツェに住む日本人、丸山兼也氏(32)が極めて元気に、元気に学校に通い、元気にご飯を食べ、規則正しく健康的に暮らしている。心配された語学力も一日一日と向上しつつあり、店での買い物、トラットリア(定食屋)での食事、バスや列車による移動などの日常生活シーンで、最低限ラインをかなり上回る生活力を発揮している。

丸山氏に通っている学校は、語学専門学校の「LINGUAVIVA」だ。丸山氏の属する初級クラスには11人の生徒があり、アメリカ人が4人、イスラエル人が4人、スウェーデン人が1人、そして日本人が丸山氏を含めて2人。

丸山氏は毎日6時に起床。8時20分に家を出て、徒歩15分で学校に着く。授業は朝9時から始まり、9:00~10:40が文法、11:00~12:40が会話という構成だ。初級とはいえ内容は濃い。「毎日宿題が山ほど出るし、予習・復習をみっちりしていかなければ授業についていけない」(丸山氏)。このため、授業は昼過ぎに終わるとはいえ、午後は自宅学習に追われざるを得ない。

そんな中で、丸山氏は元気に。イタリア語の発音はローマ字方式のため、日本人の方がアメリカ人よりも発音は上手だ。丸山氏は「クラスの中で私が一番声が大きく発音もうまい」と語っている。また、文法でも丸山氏は頑張りと、先日実施されたミニ・テストでは41点満点中40点という高成績を収めた。「これからも日々努力だ」(丸山氏)。

授業は1カ月で1コース。各コースを終えた時点で生徒の到達度を先生が判断し、「OK」サインが出た生徒のみ1ランク上のコースに進むことができる。コースは初級から上級まで全部で6コースあるが、途中で1ランク下に逆戻りすることもある。千葉・浦安市から来た貿易会社を経営する日本人青年は、「いったん第3段階まで進んだのだが、授業について行けず第2段階に落ちた、結局第2段階をこれで3回もやっている」と嘆いていた。丸山氏は「頑張らねば」と心に誓うのであった。



HO RICEVUTO, DA UN MESE

日本を8月14日に発送した航空貨物が、ちょうど1カ月後の9月14日、ようやく届いた。日本の運送業者は「所要日数は2週間」とのことだったが、ここイタリアでは何事もこんな調子で時間がかかるようだ。同じ8月14日に郵便で送った冬物衣料類が、冬になる前に届くかどうかかなり真剣に懸念される。

郵便事情も相当まじい。在居から徒歩2分の所にある銀行から「給与振込通知」が郵便で届いた

が、消印は「4日」、配達されたのは「10日」という具合だ。直線距離で約200メートルを配達するのに5日間も要している。

また、郵便局で切手を買ったときのことだが、同じ大きさの絵ハガキでありながら、その日の窓口の人によって「1000リラ」という人がいれば「1100リラ」と言う人もいた。理由はよく分からないが、投函して約10日の後、どちらの絵ハガキも無事日本に届いたことが確認された。

ZANZARE!

蚊が多い。当地ではイタリア製の「VAPE」が大活躍している。日本からの技術移転だ。

CARI ...LA SPESA

フィレンツェは物価が高い。店頭でちょっとした日用品を手に取り、値札を見て、「アリャー、CARO(高い!)」と驚くことがしばしば。

例えば--

①タバコ「マルボロ・ライト」(日本円換算約400円)

②プラスチック製の茶こし(約450円)

③ブラウスのボタン(1つ約250円)

④日本経済新聞・欧州版(750円)

とはいえ、すべてのものがペラペラに高いわけではない。ワインはさすがに本場だけあって安いし、カフェ、牛肉なども日本の3分の2程度。目についたものをおおきく分類すると、

【東京より高いもの】=★日用雑貨★家賃★各種サービス料(理髪店など)★鶏肉★電気、ガス、水道料★フィルム……

【東京とほぼ同じもの】=◎日用衣料◎家電製品◎バス、タクシー◎高級レストラン……

【東京より安いもの】=☆ブランド衣料☆牛肉☆ワイン☆野菜類☆靴……

もっとも、町っ子に言わせると、ここ1年ほどの間に物価が全般的に上昇しているという。市内バス運賃は700リラだったのがいつのまにか1000リラ。そういえば、学校内の自動販売機のカフェが、8月の700リラから9月には800リラになっていた。なんとなく、物価上昇傾向は続きそうである。

ABITIAMO...

丸山ファミリーの住居は、市中心のドゥオモ広場から徒歩で約5分という好立地にある。市街地ながら路地を入った所にあるため、思いのほか静か。石造り5階建てアパートの2階で、寝室、台所、風呂という構成。ベランダも含めた延べ面積は約50㎡。

千客万来! (漢宮飯店)

CRESCIMENT DI LA BAMBINA YUKA

丸山兼也・伊津子夫妻の可愛い女の子、丸山優香(2)が、フィレンツェの地で元気に成長を続けている。大好きなスパゲッティをモリモリと食べ、ひと眠りごとに着実に体重・身長を増している。

優香ちゃんは毎日、午前10時ころ、おかあさんと一緒に、自宅から徒歩10分ほどのところにあるタゼリオ公園に遊びに行く。公園では「チャオ」「グッラツェ」という二つのイタリア語を駆使し、友達と遊んでくれている。

高さ2mほどのすべり台が大好きで、腹ばいになって頭を下にして滑り降りる。この公園ではこのような危険な遊びをするのは彼女が初めてで、「オー」という歓声とともに他の子供たちにも大ウケ。親の心配をよそに、タゼリオ公園では「優香方式」が子供たちの間で流行し始めた。



FIRENZE, COME?

「どんなところ(=Come)?」。フィレンツェの街の外観は中世そのもの。石畳の狭くて暗い路地が多く、路地を歩くと、両側にそびえ立つ石の壁の底に立っているような感じ。その「底」を人や車が掻き回すため、街全体の空気がホコリっぽい。

盆地にあるため、気候は昼夜の寒暖の差が激しい。9月半ばの現在、日中は30度近くまで上がるが、明け方は15度まで冷え込む。

街全体が観光地。15世紀ころ、フィレンツェはメディチ家の本拠地として栄え、ルネサンス文化を生んだ。街角のそこそこミケランジェロの作品が散らばっている。

お断り この新聞は月1回をメドに不定期に発行されます。事情により発行されない月もあります。

ザ・フィレンツェ・マルヤマ新聞

IL GIORNALE FIRENZE DI MARUYAMA

c/o MATHES
Via Pandolfi
ni 2 1
50122 FIRENZE

HO PROGREDITO

フィレンツェの語学専門学校でイタリア語を学ぶ日本人、丸山兼也氏(32)が、9月28日、第2段階への進級を果たした。『文法』はこれまでのところほぼ完璧。『会話』は、ボキャブラリーの不足を身振り手振りで必死にカバーしている。

新しいクラスは生徒10人。ドイツ人が5人、スイス人が1人、コロンビア人が1人、そして日本人が丸山氏のほかに2人。みな第1段階をダブらずにクリアしてきた連中だ。それだけに授業は一段とシビア。第1段階ではテキストの進み方が一日3〜4ページだったが、これが一挙に10ページになった。また、授業中に質問されて答えに詰まると、すぐさま別の生徒が「横取り」して答えてしまう。

こうした厳しい生存競争を生き抜くため、丸山氏は「これまでも増してリキを入れなければならない」と誓うのであった。

una grammatica
ITALIANA

イタリア語の単語は名詞も動詞も形容詞もすべて、男か女かの「性別」を持つ。例えば「新聞」(=GIORNALE)は男、「海」(=MALE)は女といった具合だ。この法則は外来語にも通用される。一問を挙げると、「テンプレ」は女性型の冠詞「La」を付けて「La TEMPURA」だし、「スシ」は男性型の「Il」を付けて「Il SUSHI」だ。「男・女が決まらないと文章が書けない」(先生)のだそうだ。

丸山優香(2)が今日も元気だ。日本語、イタリア語ともにボキャブラリーを増やし、最近では「時計」「オロロジョ」という難かしい単語も話す。ダゼリ

YUKA
VIVACE

オ公園ではサンドロ君という2歳半になる力強い男の子と大の仲良しで、二人で元気に走りまわっている。優香は順調に成長している。ただ父親がなにかにつけて甘いためか、少しばかりわがままな傾向が見られる。「困った」(母)。



(1段階進級して喜ぶ丸山氏)

丸山氏(1)は、第1段階をダブらずにクリアしてきた連中だ。それだけに授業は一段とシビア。第1段階ではテキストの進み方が一日3〜4ページだったが、これが一挙に10ページになった。また、授業中に質問されて答えに詰まると、すぐさま別の生徒が「横取り」して答えてしまう。

CUCINARE, MANGIARE,
LA CENA ITALIANA A CASA

丸山氏の家庭では、未知なるイタリア料理に果敢に挑戦している。最近のヒット作は①ソーメンのように細いスパゲッティ②パカラという名前のタラの塩漬③とぐろを巻いた形のソーセージの三つ。また、コンソメやカレー粉など有り合わせの調味料を駆使、日本料理らしきものも食する。



(写真は、一家だんらんの楽しい食事風景)

L'INIZIO
della AUTUNNO

フィレンツェから夏が過ぎ去り、あっという間に秋になった。カラカラに乾燥した9月とは違って変わった雨がちとなり、気温も一日と肌寒さを増している。朝方の冷え込みにやられてか、体調を壊してハナ水を垂らしている向きも多い。気候だけでなく、社会生

あなたの足は
きょうも
ATAF!
～公営市内バス会社～
「無賃乗車している人がたくさんいます。あなたも一度試してみませんか!」

先日の日曜日、ピサの斜塔なるものがどの程度傾いているのか、この目で確かめに行
PISA, TORRE

INCLINATA
「あれはすごい。そのうち倒れる」(丸山氏)。見た人は早めにごうぞ。

CADERE.....

CHE COSA E ?

4階建て集合住宅の2階にある丸山氏宅のベランダには、上の階から様々なモノが落ちてくる。タバコの吸い殻やガムのポイ捨て、電気掃除機のカゴなどだ。先日は4階の老婦人が「入園を落としてしまった」。丸山氏は一緒に探してあげた。

ANIME
DI GIAPPONESE

イタリアのテレビでは、日本のアニメが大活躍している。10月上旬の現在、「ルパン3世」「パーマン」など、少なくとも週に8本の日本アニメが放映されていることが確認された。アニメを通じて、イタリアの子供達に日本文化がジワジワと浸透しているようだ。「鉄腕アトム」「がんばれ元気」「めざん一刻」「YA・WA・RA」「マジンガーZ」「デビルマン」ー。いずれもイタリア語に吹き替えられており、当地の日本人にとって格好のヒアリングの教材となっている。

また、日本ではなかなか見られない韓国製アニメも放映されている。登場人物の姿・形が日本アニメによく似ているため一瞬日本のアニメかと勘違いするが、よく見ると画面のあちこちにハングル文字が出てくる。内容は「熱血青春学園スポーツ物」といった趣向のものが多い。

POSSIAMO
COMPRARE
NIKKEI

A FIRENZE

フィレンツェ市内で、誰でも簡単に日本経済新聞(欧州版)を購入できることが分かった。中央駅南、ドゥオモ広場など、少なくとも市内4カ所の街頭スタンドで販売している。また、週に1回ペースで丸山宅に日経を配達してくれる「ASM」社のおじさんによると、フィレンツェで10人が定期購読しているという。

STANDA
庶民の味方! FIRENZE
のマルエツ! 日曜休業
月〜土 8:30〜20:30
(ただし、月曜午前中は営業しません)

活の上でも秋を実感させてくれるのが、日本には無い「夏時間」から「冬時間」への切り替えだ。今年は9月27日の午前零時をもって、時計の針を1時間巻き戻した。日本時との比較で示すと、

日本(7:00) =
イタリア夏時間(14:00)
イタリア冬時間(15:00)

国際電話などの際には、少しばかり注意を要するのでよろしくお願い申し上げます。

FIRENZEの「明治」
PEGNA
酒ワンカップ 700円 /
ジャウカレー 900円 /
見るだけタダ、の高級店

ザ・フィレンツェ・マルヤマ新聞

IL GIORNALE FIRENZE DI MARUYAMA

C/O MATHES
Via Pandolfi
ni 21
50122 FIRENZESTAVO PER COMINCIARE 3°
MA QUANTO POSSO AVANZARMI
NON LO SO ...

フィレンツェの語学専門
学校でまなぶ丸山兼也(32)
が10月26日、無事に第3段
階へコマを進めた。教科書
も2冊目に突入し、イタリ
ア語の難関とされる「遠過
去」文法にも挑む見通し。
イタリアに来てから3カ月
目に入り、大きな試験の時
を迎えている。

今回のクラスは生徒9人。
スイス、フランス、ドイツ、
コロンビア、スリランカ、
そして日本と国籍は様々。コロンビア人のマリア嬢はも
ともとスペイン語ができるため、9人の中では別格のう
まさ。フランス人のシルバニお婆さんは鼻に掛かる仏語
訛りがきつく、何を言っているのか意味不明。スリラン
カ人のアマラジリ君もシン
ハリ語訛りが強烈。そして
丸山氏は、「恥は書き捨て
て精神」を遺憾なく発揮し、
誤りを恐れず果敢に発言し
て授業の主導権を確保。

このところカゼが流行し、
授業中、右も左もセキやク
シャミの大合唱。そんな中、
丸山氏だけは至って健康。
健康は最大の武器という言
葉を改めてかみしめている。



(第3段階に進出した丸山氏)

L'ARNO,
CI SONO MOLTI
ACQUA!

フィレンツェは10月、ほと
んど毎日のように雷を伴って
雨が降った。市内を流れるア
ルノ川は「氾濫一步手前」(
地元紙)に増水、21日には子
供二人が濁流に飲まれて行方
明になった。

電気・水道網も一時混乱。
22日に丸一昼夜の断水を強い
られた丸山宅では、ミネラル
ウォーターを鍋で沸かして優
香の体を拭いたり、雨水を溜
めてトイレで使い、急場をし
のいだ。

ただ、丸山宅では「珍しい体
験ができた」と、元気に過ご
している。

sig. KAIFU
HO CAMMINATO

海部前首相夫妻がフィレ
ンツェ市内を散歩している
のが10月15日、当地の信頼
できる複数の日本人によっ
て目撃された。元氣そうだ
ったという。観光旅行では
ないかと推測されているが
、よくわからない。

MAFIA

「マフィア」が連日のよ
うに人を殺している。日本
のヤクザは死体をコンクリ
ートに詰めて隠すが、マフ
ィアは道路脇に
無造作に投げ捨
てるのが特徴。
テレビニュース
も、頭から血を
流した死体の場
面をカットせず
に放映する。ヤ
クザがどことな
く「日陰」でジ
メジメした存在
なのに対し、マ
フィアは堂々と
存在を主張して
いるようだ。

YUKA, E UNA BAMBINA DI [YOIKO]

丸山優香(2)が元気だ。両親が「よい
子はだあれ」と問い掛けると、大きな声で
「はい」とお返事して、親の言う事に素
直に従う。お昼寝しない悪い子の時、こは
んを食べない悪い子の時も、この一言でよ
い子に変身するから不思議だ。ただ、最近
、新たな知恵が付き、「よい子は、いらい
ない」と答えて親を困惑させ始めた。

知恵とともに、体重も着実に増している。
だっこした感触では、12kgは突破した模様。
(「よい」とはめられて喜ぶ優香ちゃん)

PREGNANTE
VOLISSIME
VOLAMENTE

イタリア語の単語の中で
最も長いとされるのがこれ。
26文字から成る形容詞で、
「プレチピテボリッシメボ
ルメンテ」と発音する。意
味は「大急ぎで」。

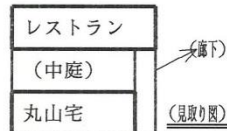
先日、妻・伊津子がなに
げなく辞書(小学館・伊和
中辞典)をめくっていて発
見した。「学術語以外では
最も長い語とされている」
と注釈が付いているところ
を見ると、辞書の編集担当
者も、あまりの長さに感動
したと思われる。

SE TU VIENI,
MI CHIAMI
SUBITO

イタリアへご旅行の際は、
丸山旅行社にお電話くだ
さい。親切・丁寧!
(001-39-55-280922)

IMPROVVISAMENTE !?
RISTORANTE

アパートの中庭に面する
丸山宅の向かいの部屋は長
らく空き家だったが、先日、
突然、レストランになった。
営業するのは不定期に週に
1、2日。ヘタクソな楽団
がBGMをガンガン演奏し
ながら、深夜2時位まで騒
ぐので、うるさい。



ZANZARE, ANCORA

まだ蚊がいる。忘れた頃
に突然刺される。

PICCOLO GITA
A SIENA

降り続く雨の合間をぬっ
て10月25日、丸山一家はト
スカーナ地方の古都シエナ
へ日帰り旅行に出掛けた。
シエナはフィレンツェの
南東約100km。小高い丘の上
の、ちんまりとした城塞都
市で、一時は丸山氏が留学
先として検討したこともある
シエナ大学で有名。

街の中心にあるカンポ広
場で遊んだ。斜面を利用し
て作られた半径約120mの扇
型の広場で、昔の人もここ
でひなたぼっこをしたもの
と思われる。優香は、この
広場でハトを追いかけて元
気に走り回った。(フィレンツ
ェから国鉄利用で片道1時間半、往復料金約1200円
程度)

BAGAGLIO, APPENA
RICEVERO !

8月14日に日本から発送し
た船便荷物が、11月2日によ
うやく届く見通しとなった。
先日、当地の運送会社BOL
LIGER社から電話があっ
た。冬物衣料、味噌などの荷
物たちに、心から「長旅ご苦
労さん」と言ってあげたい。

イタリアの焼き栗

先日、東京・原宿に「イタ
リア式焼き栗屋ができた」と
読者の方から投書をいただ
いた。当地では、目立たない路
地裏で、老夫婦がひっそりと
屋台を出して栗を焼いている
。ホカホカしておいしい。

ザ・フィレンツェ・マルヤマ新聞

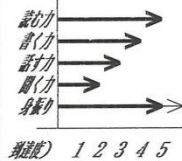
IL GIORNALE FIRENZE DI MARUYAMA

会C/O MATHES
Via Pandolfi
ni 21
50122FIRENZE

Vado su strada a tornanti

丸山兼也(32)が「Medio」(中級)に進級した。イタリア語を読む力、書く力は着実に進歩しており、今後は会話力の向上を最重点課題としていく方針だ。

自己判定グラフ



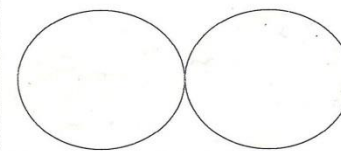
- 9-11月の語学学習結果を総括し、丸山氏は次のとおり自己判定した。
- ①読む力=「5」
(新聞記事の概略を把握できる)
 - ②書く力=「4」
(かなり高等な、文章が書ける)
 - ③話す力=「3」
(相手に意思を伝えられる)
 - ④聞く力=「2」
(かなりの努力を要する)

また、イタリア人は「傘を持つと会話ができない」と言われるほど身振り手振りを重要視する。丸山氏は単語力の不足を身振りで補うことに慣れており、「身振り」に関してはかなりの自信を持っている。

9月は「Principianti」(入門)、10月は「Elementare 1」(初級1)、11月は「Elementare 2」(初級2)と進み、今後は12月「Media 1」、1月「Media 2」とクラスを進めていく。そして、2月には当校の最終クラスである「Avanzato」を終了する考え。3月以降の作戦としては、現在のところ①当地のジャーナリスト養成専門学校に入学する②フィレンツェ大学の聴講生になる③のふたつの選択肢を検討している。

ci sono in buona
rirazione ...

♡ YUKA e SANDRO



婚へと発展するかどうか、まったく予断を許さない。特に、サンドロが優香に寄せる思いが強い。公園で優香の姿が見えないと、サンドロは、悲しそうな顔で「Dove sei YUKA! ?」(優香はどこ)と探し回るといふ。

サンドロはまだ2歳ながら体重が19kgもあり、公園では一番強い。こんな素晴らしい彼氏ができて、優香はしあわせ者だ。

かねて交際が噂されていた優香さん(2)とサンドロくん(2)が、一段と親密の度合いを深めている。ただ、双方ともまだ若いため、現在の交際が将来の結

Esalt! Posso comprare 「サザエさん」 a FIRENZE

フィレンツェ市内に「中国食品店」という店ができた。「青島啤酒」などの中国産品だけでなく、「白鹿」「月桂冠」(1.5L、2800円)、「サザエさん」(1.5L、2800円)、「サザエさん」(1.5L、2800円)、「サザエさん」(1.5L、2800円)。

PERDITA (赤字)!

埼玉・上尾市に現れたマシンの借り手が現れず、有限会社丸山家(本社フィレンツェ市、社長丸山兼也氏)の国際遊藝決算は毎月かなりの赤字だ。

Buon Natale!

Buon Anno!

メリークリスマス、そして謹賀新年。皆様方におかれましては、来年がより良い一年となりますように。

🎅🎄🎁🎊🎉🎊🎉🎊🎉🎊

フィレンツェより 愛をこめて

丸山兼也/伊津子/優香

Sai? Nostra Programa di Viaggio

フィレンツェ丸山家は12月20日から1月8日までの冬休みを利用し、約1週間ほどをシチリア島のシラクサでのんびりと過ごす方針である。古代ギリシャの植民地都市として栄え、当時の遺跡が残る。魚介類がおいしいのも魅力だ。

《Mi da!》 sigaretta

10月後半に始まったタバコ屋のストライキに終結のメドが付き年内にもタバコが街で買える見通しとなった。丸2カ月間も店頭からタバコが姿を消すとは、日本ではとても考えられない事態だ。

12月1日現在、ブラックマーケットでのタバコ価格は、1本2500リ(2500円)もする。名出夫妻が買ってきてくれたマイルド・セブンが実にうまい。

全イタリアで約3000万人とされる喫煙者は怒りの日々だ。

Benvenuto!

Il signori NAIDE

世界漫遊中の名出夫妻が11月27日、フィレンツェ・マルヤマ新聞社を訪問した。本社近くの食堂で会談した名出・丸山両夫妻は、「今後とも世界平和のために努力を惜しまない」との見解で一致、おいしく御飯を食べた。

(注) 名出夫妻は11月22日に結婚式を挙げた後、「愛と平和」を説いて世界各地を遊んでいる。



(写真は非AP)

Zanzare, non cisara

まだ蚊がいる。が、寒さのせいで動きが鈍くなっており、たたき殺すのが容易になってきた。夏以来苦しめられてきた蚊とも、ようやくお別れできそうだ。

Al mare

「海が見たい」ー。こんな思いに駆られて11月21日、丸山家は海辺の小さな町、ピアレッジョへ日帰り旅行に出掛けた。有名なピアレ海岸へと続く砂浜は人もまばら。「冬のリエラ」は寒かったが、石畳みの町フィレンツェで暮らしているためか、「久しぶりに水平線を見て感動した」(丸山氏)。



(久しぶりに海を見た丸山一家であつた)

夏冬

◆「春秋」を田中陽氏が書く時代だから、丸山氏が「夏冬」を書いていいだろう、という単純な動機で、今回からこの新コラムがスタートする(多分そのうち自然消滅します)。

◆唐突だが、アマート首相の記者会見をテレビで見て、「アッ、この人は真面目で正直な人間だ」と直感した。政治家の顔には(特トランプ・ニクソンの「偽善顔」と(チャム

ー・マククリントンの「善人顔」の2種類がある、と思う。政治手腕は別として、私は後者に好感を持つ。◆今日本の善人顔は、神田正輝ぐらいしか思い浮かばない。

ザ・フィレンツェ・マルヤマ新聞

IL GIORNALE FIRENZE DI MARUYAMA

金C/O MATHES
Via Pandolfi
ni 21
50122FIRENZE

Buon Anno!



謹賀新年
(ベネチアにて 1992/12/6)

新年、明けましておめでとうございます。旧年中はたいへんお世話になりました。今年もよろしくお願いいたします。皆様方におかれましても、今年がよりよい一年となりますように。

というわけで、年賀状に代えて、「フィレンツェ・マルヤマ新聞」の新春特別号を発行させていただくことにいたしました。ご了承ください。ところで、皆さんはイタリアと聞いてどんなイメージを

お持ちでしょうか。私もささやかな経験で申しますと、要するに「普通の人々が普通に暮らしている」という感じです。国家財政大赤字、通貨のリラ暴落、マ

フィアの暗躍など日本に伝わるニュースはあまり良くないかも知れませんが、日々の暮らしは極めて「普通」です。何が普通かと言えば、イ

Quale E? (Macchina)

今のところイタリアで日本車を見るのはまれだが、93年から輸入規制が緩和されるのでもう少し増えるかも知れない。独断と偏見で予測すれば、その際に売れ筋となるのはスズキの軽四駆(旧格ジムニー)だろう。理由は、①道が狭いイタリアでは小さい車が便利②欧州メーカーの小型車はファミリーやマーチにそっくりなので、関税を払ってまで改めて日本車に買い替える必要もない③現在、日本車ではパジェロの人氣が抜群だが、ジムニーはパジェロに似ている(かつ安い)。当たるも八卦、当たらないも八卦、あしからず!

イタリアご旅行の際はぜひご相談ください。
御 丸山旅行社
親切・丁寧・タダ!!
国際ダイレクトコールは...
(001-39-55-28/09/22)

Ha cominciato studiare 伊津子

妻・丸山伊津子氏は12月中旬から、週一回ペースでイタリア語のレッスンに通い初めた。公園で優香を遊ばせながら実戦で身に付けたイタリア語に、一段と磨きをかけるのが狙いだ。

「コメ・シ・トロバ・フィレンツェ?」「ミ・ピアーチェ・モルト」(フィレンツェはどうか? とても好きです)ー。こんな感じだ。一歩一歩会話を前進させているのであった。

よいこの二人はいつも仲良し YUKA e SANDRO

丸山優香さん(2)が、たぶん今年も元気だ。去年は、サンドロ君(2)という仲良しができたし、クリスマスにはサンドロのおばあちゃんからプレゼント(子犬のぬいぐるみ)まで戴いた。「こんなにモテるのはたぶん今だけだよ」(母・伊津子)という言葉をかみしめ、一期一会を大切にしながら、優香さんは93年(平成5年)も元気に成長を続けることであろう。それから、今年の課題は「おむつ」。Piano, piano(ゆっくり)と、ウンチとおしこの仕方をお勉強していくことになる。Ciao (チャオ)!



Noi faremo un viaggio in ... SICILIA

フィレンツェ丸山家は12月25日の夜行列車で旅に出た。行き先はイタリアのシチリア島。片道約

1200kmの寝台列車の旅だ。ホテルと帰りの切符は何も予約していないが、「まあ何とかかなるでしょう」(丸氏)。

行き当たりばったりで旅を続け、1月5日メドに帰宅する考え。イタリア語会話の武者修行になると期待している。

Atten - sione

この新聞は月1回をメドに不定期に(気が向いた時に)発行されています。また、配達先も気紛れです。定期購読を希望されてもどこまでお応えできるか分かりませぬ

夏冬

◆日本では意外と知られていないが、イタリアでは今も徴兵制度が残っている。男女とも、高校卒業後、1年間兵隊さんに行くのがきまりだ。もっとも、兵役に替えて身体障害者などのボランティア活動を選択することも可能で、丸山氏の学校の先生によると「3割以上がボランティアを選択している」そうだ。◆何かにつけ時間

にルーズなイタリアだが、兵役で規則正しい集団生活を経験した若者の方が、会社でも「まじめ」な仕事をするのだそうだ。兵役には、体育会サークル的な効用がある?

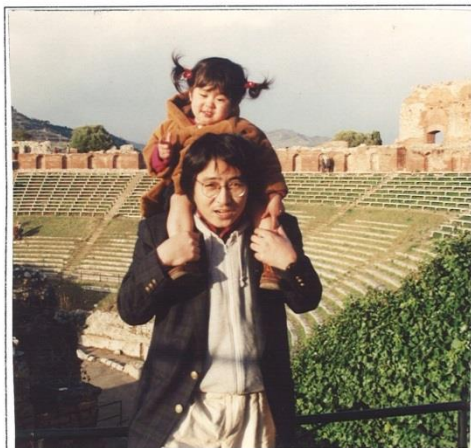
ザ・フィレンツェ・マルヤマ新聞

IL GIORNALE FIRENZE DI MARUYAMA

会C/O MATHES
Via Pandolfi
ni 21
50122FIRENZE

《M a v a ' !》

E nevicato,
mentre giravamo
in SICILIA



(シチリアは古代ギリシャ、ローマ時代の遺跡が数多く残る・タオルミナにて)

丸山一家は延べ11日間に及ぶシチリア旅行を終え、1月4日フィレンツェに帰宅した。マフィアと出会うこともなく安全な旅だったが、問題は天候。「まさか、まさか」(Mava')の雪が降るほどの大寒波に遭遇し、暖房の無い寒い部屋で年を越すハメとなった。

シチリアは地中海に浮かぶイタリア最南端の島。面積は四国とほぼ同じ。暖かな土地で、新鮮な魚料理を食べ、のんびりと年末年始を過ごそうという当初の計画は、残念ながら悪天候によって打ち砕かれてしまった。

しかし、雨や雪の合間を縫って、丸山一家は果敢に観光に繰り出した。①嵐に傘を飛ばされそうになりながらシラクサの古代ローマ劇場跡を見た②雪に

降られながらもタオルミナの古代ギリシャ劇場を見た③雷雨の瞬間の晴れ間をとらえアグリジェントで夕日に輝く神殿を見たーなどがその一例だ。

一方「シチリアは10年前の四国に似ている」という印象も受けた。島内の国鉄はほとんどが単線・非電化で、車両も本土のお下がり。シラクサーパレルモ(237km)に9時間も要した。また、パレルモ以外の町では人口密度が稀薄で、その分、海の青さやミカン畑の美しさが目立った。

いずれにせよ、「良い経験ができた」と喜んでいる。

Vivere in Sud

交差点の中まで違法駐車の手が溢れ、歩行者は道路を横断するのもままならない。渋滞・排気ガスで建物は一色黒。観光客慣れないせいか一見無愛想な人が多く、我々日本人は珍しがられてジロジロ見られる。シチリア第一の都市、人口65万人のパレルモはなかなか面白い所だ。

加えて、フィレンツェ近辺とは違って様々な「顔」の人がいる。古代ギリシャ以来、ローマ、ドイツ、スペインと支配者が替わり、さらには地理的に近いこともありアラブ風の顔も多い。通行人の顔を見ながら「この人はどこから来たのか…」と想像するのも楽しい。

Si usa [Ciao]
新「おかあさんといっしょ」

松山と新潟のおじいちゃんがそれぞれ、NHKの「おかあさんといっしょ」をビデオテープに録画してフィレンツェの孫、優香ちゃんに送ってくれた。「じいちゃん、ありがとう」(優香)



(「おかあさんといっしょ」を見ながら一様に顔が赤くなる優香ちゃん)

シチリアは「マフィア発祥の地」として有名で、ニュースによると現在も活動は活発。が、幸にして恐ろしい目には一度も会わずに済んだ。

ただ、イタリア本土に比べてポリツィア(警官)やカラビニエーリ(憲兵)がやたらと目に付いたのも確か。銀行や役所の前を警備する警官が、拳銃でなく抜き身の機関銃を手にしているのにも驚いた。アグリジェントの州中央銀行前では、警官や憲兵でなく、イタリア陸軍の兵士が直々に警備に当たっていた。いずれにせよ、物騒な所ではあるのは確かなようだ。



(拳銃でなく機関銃を手に市役所を警備するおまわりさん・パレルモにて)

Ci vuole 2 ore per lo stretto

イタリア本土とシチリア島のメッシーナは国鉄の連絡船が結ぶ。列車を3、4両ずつ切り離して船に乗せて運ぶ作業のため、関門海峡の2倍ほどの距離に都合2時間も要する。また、船は約3時間に一本。時間的な距離が、シチリアと本土を一段と遠いものになっている。トンネルが橋があれば、シチリア経済は大きく変化すると思う。

夏冬

◆…イタリア語で「天候」のことをTempo(=テンポ)と言う。「悪天候」はMal tempo(=マルテンポ)。丸山氏がイタリアに来て以来、9-11月には約25

年ぶりというフィレンツェの大雨・洪水、年末年始にはこれも約30年ぶりと地元の人々が言うシチリアの大寒波。行く先々で「丸テンポ」に遭い、どうなってるのと言いた

くもなる。◆…「日頃の行いが悪いため」と揶揄する妻・伊津子殿に対し、「嵐を呼ぶ男でカッコイイじゃないか」と負け惜しみを言いつつ楽しく過ごしております。

ザ・フィレンツェ・マルヤマ新聞

IL GIORNALE FIRENZE DI MARUYAMA

 C/O MATHES
Via Pandolfi
ni 21
50122 FIRENZE

Mi sono deciso di frequentare

《 V a a v a n t i ! 》

..... *Università di Firenze dal 5 Aprile*

丸山兼也氏(32)がフィレンツェ大学に進む意向を固め、着々と準備していることが22日までに明らかになった。4月5日に入学し、6月15日に一通りのコースを終了する3ヵ月間の短期決戦に挑む考えである。

丸山氏の作戦によると、入学するのは同大学の付属機関である「CENTRO DI CULTURA PER STRANIERI」(＝外国人文化センター)。単なる語学習得だけでなく、イタリアの政治、経済、文化、風俗、歴史、時事情勢などを幅広く学ぶのが特徴だ。また、語学も「伊文・英訳」に挑戦するなど、現在の丸山氏にとってかなり高いハードルとなることが予想される。

先日同センターを事前視察したところ、①丸山氏の住居からは徒歩約50分を要する②バス路線は大きく遠回りしているためやはり約40分は要する③それなら自転車が最適—との感触を得た。始業時間は朝8時45分。近く、何等かの手段で自転車を調達する方針である。



(「ハチマキピース」をする丸山父子。)

???

???

Che cosa è 「便利」

「セブン-イレブンも無いし日曜日はどのお店も休み。来た当初はなんて不便な所だろうと思ったけど、よく考えれば別に不便でもなんでもないのよねー。い……」

Molt, molto
importante
e FAMIGLIA

「あなたにとって一番大切なものはー？と聞かれれば、イタリア人の95%は“家族”と答えるはず！(丸山氏の断言)。

企業が押し付けてくる「便利」「満足」に対し、イタリア人は何を基準にして抵抗し、自分を支えるのか。それがこの答えだ。そう考えてみると、24時間営業の商店が成り立たない一因が分かる。

しい「便利」が提供されてくるため、消費者にとっての「便利」とは、どこまで行っても掴まえない蟹気楼でしかないそこに慢性的な欲求不満が生じる。そして企業は

みじくも、丸山伊津子が
くわ破した。こ、フイ本
コレンに居る。こと、日本
はあまりにも「便利」日を
追いかけて過っているのだ
は、と思えな土曜日に少
し多めに買えばいいだけ
の話だ。しっかり休む店
・人が多いという事は、
つまり、社会全体で見て
それだけ「時短」が進ん
でいる事に他ならない。

日本では、多くの場合企業が「便利」とか「満足」を提案し、消費者はマスコミを通じてそれを知る。他人から絶えず新

そこに付け込んでまた新たな「便利」で消費者を誘導する。

「便利」とか「満足」は、本来消費者一人一人が自前の基準で考えるべきものだと思う。

L'inflazione

リラ暴落と軌を一にしてインフレが進んでいる。この1月から市内バス運賃が10%アップして1100円になったのを始め、タバコも軒並み300-500円値上がりし、マルボロ等、人気の輸入タバコは一箱5000円(約5000円!)時代に突入した。(リラ建て総持の丸山氏に為替のウマ味はない)

千客万来

お陰様をもちまして御丸山旅行社は創立6カ月となりました。日経関係者だけでも延べ8人のお世話をさせて頂きました。謹んで御礼申し上げます。❀

YUKA, È UN "CAPOBIMBA" ?

丸山優香(2)が公園で、イタリアの子供たちに率先して悪い遊びを流行させている。具体的には①靴に入らないことがある②地面に流れて転げ回る③ドロコで泥をグチョグチョにする④「だっこ〜」と泣き叫んで親にまとわりつくーなど。優香の行動を見て、おとなしい子供たちまでマネをして、公園では日本語の「だっこ〜」が蔓延。「恥ずかしくて……」(8)。



(公園の仲良したち。左からミケーレ、ラビニア、優香、ジネーブラ。シャッター速度1/60秒で撮影した写真だが、落ち着きのない優香さんだけがブレて写っている。)

夏冬

◆…飛行中の旅客機が故障して火を吹いた。荷物は全部捨てたが乗客をあと一人捨てないで重くて墜落し全員が死ぬ。捨てられないためには、あなたは誰になるべきか

◆…先日こんな会話の授業があった。丸山氏は「俺はマフィアのボスだ。俺を捨てたら子分がおまえら皆殺しにするぞ!」。他の人は「私はローマ法王」「私はボリス

ベッカー」「私にはおなかに子供がいる」ーなど。◆…結局、教室満場一致で丸山氏が捨てられることになった。自由と正義を尊ぶ欧州人気質を体感した。

CORREGGERE ALLA SERA

Direttore KENYA MARUYAMA
Grande segretaria Edi

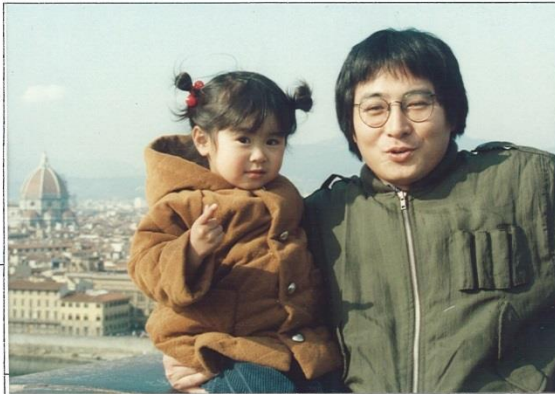
Indirizzo Via Pandolfini 21 FIRENZE ITALIA
Tel 055-28.09.22

Abbiamo l'indipendenza da CORRIERE DELLA SERA

Grazie tante!

FIRENZE — «Io sono molto grato a LINGUAVIVA!» — Lasciato questa parola, è uscito dalla scuola uno studente, che si chiama Kenya MARUYAMA, ha 32 anni, viene da Giappone. E poi lui ha detto «Se non ci fosse stata LINGUAVIVA, io non ci avrei capito niente, non avrei potuto fare niente a Firenze»

Prima di venire da LINGUAVIVA, lui conosceva solo «Grazie» («Buongiorno»). Ma nel volgere di pochi mesi, si è cambiato. Adesso, lui sa anche passato remoto, congiuntivo, concordanza dei tempi. «Continuerò gli studi italiani!» — ne ha deciso. Grazie a LINGUAVIVA.



Maorizio
è mio fratello
ha confessato tutto

Ieri, noi 'CORREGGERE ALLA SERA' abbiamo fatto un'intervista con MARUYAMA. Era difficile di trovarlo, perché lui è in colpa, e sta fuggendo via. Ha confessato sua famiglia misteriosa. «Ho un fratello alto, Maorizio, si chiama, mi piace suo "BOH!" particolare. Anche ho sorelle, Antonella mi ha aiutato fare i primi passi. Stefania, dove è andata? Elisa non è brava pistolero ma brava Pistoiense. Eligio è mio zio»

LINGUAVIVA, Va bene
Avanti!

di Kenya Maruyama

Le insegnanti e gli insegnanti della LINGUAVIVA non sono solo insegnanti. Mi sembrano i maestri! Perché loro conoscono tutto che non è soltanto le parole ma la politica, la economia, la società, e la filosofia (anche di GREGORIO). E poi mi hanno piaciuto molto i loro gesti. Per quanto non abbia capito io qualche parola, mi hanno aiutato a capire bene i loro gesti.

Per esempio. Un giorno, io non sapevo "prosciutto". Allora, Fiorenza me l'ha spiegato, facendo una attorcice come una porca, in quattro occhi. Altra volta, Susanna ci ha spiegato che cosa è "siringa" che si usa all'affreddore, puntando il suo indice a parte di alto di suo gluteo. Dopo avere finito quella lezione, io e altro ragazzo, si chiama Toyo, ci abbiamo raccontato. Lui mi ha detto «hai sentito qualcosa erotica un po'?» ho risposto «Sì». Il prosciutto e la siringa! Io non li devo dimenticare. Fiorenza e Susanna!

Non è arrestato ancora
il criminale, Maruyama

Non dimenticarlo

Si nasconde sotto terra di Firenze un uomo. Lui cade in colpa che deve studiare Italiano di più. Polizia segreta, si chiama Pietro vi chiede «Lui frequenta Università dal 5 Aprile, se si lo vede, mi dica»

SCHEDINA
TOTO-
GRAMMATICA

Quale è più difficile?

⊕	⊕	⊕
Congiun. - Indica,	1	
P. Remoto - Imperfe,	1	
Condizi. - Futuro	×	
Gerundio - Participo	2	
Preposi. - Concor.	×	
Ci - Ne	2	

MONTEPREMI: L. 360.000.000

Nel piazz. d'azeglio, c'è una
CAPOBIMBA
Si chiama YUKA, 2 anni

C'è una bimba fortissima nella piazza. È Yuka MARUYAMA. Ogni mattina viene lì, gioca vivacemente, e poi torna a casa per mangiare.

Lei ha tante amiche e amici. Soprattutto, Ginevra, 2 anni, è la più amichevole. Queste due bambine hanno

un completo di borsettelini, che nonno di Ginevra ha comprato. Una è blu, una è rossa bianca. Ci parlando «eccola», «eccola», due bimbe si le scambiano.

Yuka ha una particolare per giocare. Per esempio, sullo scivolo, si mette giù dalla testa.

«Mi sembra che Yuka preferisca il pericolo» dice mamma di Yuka, si chiama Ituko.

Yuka deve fare un compito che smette un pannolino!



Le piacciono gli spaghetti

GRANDE
QUIZU

Su questo giornale, ci sono tanti errori di grammatica. Li trovate, e poi competete chi può trovarlo di più. Tipo di errore sono → ☆TEMPO DEL VERBO ☆FORMA DEL VERBO ☆MODO DEL VERBO ☆CONCORDANZA ☆PREPOSIZIONE ☆PRONOMI ☆ORTOGRAFIA ☆NON APPROPRIATO
ありがとう! さようなら、また会いましょう。

ザ・フィレンツェ・マルヤマ新聞

IL GIORNALE FIRENZE DI MARUYAMA

金C/O MATHES
Via Pandolfi
ni 21
50122 FIRENZE

STO QUI ANCORA TRE O QUATTRO MESI, MA

《Non dimenticarmi》

ザ・フィレンツェ・マルヤマ新聞はこのほど、当地に留学している日本経済新聞記者・丸山兼也氏(33)に単独インタビューした。この中で丸山氏は「私を忘れないでください」と発言、数か月後に帰国した際に「浦島太郎」になるのではないかと懸念を表明した。また丸山氏は当紙に対し、「新編集長をはじめ、RSの皆さま方にもよろしくお伝えください」との伝言を託した。単独会見の要旨は次の通り。

一、心身ともにいたって健康であり、学業も着実に成果を挙げつつある。

一、イタリアの政治・経済は停滞しているが、人々の顔から明るさは消えていない。

一、通貨リラは依然底が見えず、昨年9月の1万円=8万リラが現在では同14万リラ近辺。イタリア製品をもっと日本へ輸入しよう。オリーブ、ワイン(シチリア産が高品質の割に廉価)などがお勧め。

一、(株)丸山旅行社を今後ともご利用ください。



(イタリアで、ジッと手を見る丸山氏)

UNIVERSITÀ DI FIRENZE
CENTRO DI CULTURA
PER STRANIERI

これが丸山氏が4月5日から通い始めた学校の名称だ。訳すと「フィレンツェ大学付属文化センター-外国人コース」。

授業の雰囲気など詳細については、今後のマルヤマ新聞紙上で逐一報告する予定。請ご期待！

RISO

最近、家でタイ米を食い始めた(約1700円)。あんまり美味しくない。

Il tempo cambiato

3月28日から「夏時間」が始まり、それまでの朝7時が同8時になってしまった。眠い。そこでクイズ。27日夜に出発し28日朝7:30に到着する夜行列車の到着時間はどのくらいだろうか。①6:30②7:30③8:30④その他。正解は④。28日は丸一日ダイヤが混乱、実際の到着は9:20だった。

È più interessante di Giappone

Spettacolo politico d'italiano

di KENYA MARUYAMA

日本では金丸が捕まり、イタリアではいよいよアンドレオッティ元首相に捜査の手が及んだ。同時進行的に演じられている両国の「汚職劇」を見ると、劇としてはイタリアの方が圧倒的に上だ。というのも、イタリアの場合、ビエトロ検事という「鬼平」のような人物がいて、観客としても「ビエトロ頑張れ」「もっとやれ」と声援を贈りやすい。一方日本の場合、「検察」と言ってもどこの誰なのかよく分からず、観客としてはどの場面でも誰に拍手していいのやらよく分からない。国民の正義感を感情移入できない人物の「顔」が見えれば日本の劇ももっと面白く盛り上がるのではないかと。

A Yuka piacciono [A, B, C]



丸山優香さんがひらがなをほぼ覚え、最近ではアルファベットのA(ア)B(ビ)C(チ)に興味を示しだした。「まだ3歳前なのにすごいぞ」(丸)。とはいえ、いまだにオシメがとれない。同い年のジネーブラちゃんが先日初めておまるでおしっこをしたと聞き、「ちょっと焦るなあ」(丸)。

→言い換えれば、イタリアの場合、「悪い奴は徹底的にやっつけろ」という観客の声がビエトロ検事という登場人物に集約され、結果として、観客は「我々がアンドレオッティを倒した」という満足感を味わえる。劇のストーリー展開に観衆が参加できる楽しさがあるのだ。「金丸が捕まった」ではなく、「金丸を捕まえた」という気分を観客一人一人が味わえるような工夫。それが民主主義を面白くするのではないかと。こちらは新聞の見出しも元氣。『いいぞビエトロ、前進せよ！』

Nuovo giornale

フィレンツェ・マルヤマ新聞社は姉妹紙を発行した。イタリアの有力紙「CORRIERE DELLA SERA」に対抗する意味を込めて、紙名は「CORREGGERE ALLA SERA」(「方では改訂」の誤)。丸山氏の語学専門学校LINGUAVIA 修了を記念して作成、同校に20部配布した。

Benvenuti I IWAKI

丸山氏のSUOCERI(義父母)である岩城ご夫妻が3月下旬の約1週間、イタリアを視察に訪れた。初の海外旅行。精力的に食べ歩き、元気に帰国した。

夏冬

◆…フィレンツェに春が来て、街に観光客が急速に増えてきた。ドイツ、アメリカからの団体さんが多く、もちろん日本人もいる。先日、地元紙「LA NAZIONE」で「博物館は石油だ」の見出しをみつけた。

ローマ、ルネサンス時代の遺跡・博物館見物に訪れる観光客は、イタリアにとってアラブの石油にも匹敵する外貨獲得源だ。◆…石油のように枯渇する恐れは無い。が、由緒ある遺跡や教会は1000年-2000年の年月

を経ていまやボロボロ、というのがこの目で見えた感想。◆…フォロ・ロマーノは石に大きなかすがいを打ち込んで崩壊を防いでいた。ピサの斜塔はそのうち必ず倒れる！ いい時にイタリアに来てよかった。

ザ・フィレンツェ・マルヤマ新聞

IL GIORNALE FIRENZE DI MARUYAMA

会C/O MATHES
Via Pandolfi
ni 21
50122FIRENZE

TANTI AUGURI AI TRIVUCI !

Vanno bene, Avanti !

di KENYA MARUYAMA

イタリア国民が歓喜に沸いている。正直者で清く正しい日本人である鳥淵博文氏が、いよいよ結婚したためだ。2月11日に式を挙げた鳥淵夫妻は、4月のある日、時間と空間をワープして突如イタリアに登場、各地でヤンヤ、ヤンヤの喝采を浴びた。

アマート首相が「我々はトリブー夫妻を歓迎する」との非公式コメントを発表したほか、マフィアのボスのト・リーノ氏（逮捕済）も、獄中で、「よくやった。おめでとうだぜ、トリブー」との感想を語った。

なかでも、フィレンツェ市民の歓迎ぶりがすごい。市長のケンヤ・マルヤマ氏が「鳥淵夫妻を名誉市民に推薦する用意がある」との意向を示し、地元紙「ザ・フィレンツェ・マルヤマ新聞」が一面前トップの大見出しで『慶祝トリブー夫妻いいぞ、前進せよ！』と報じたほどだ。

当市を訪れた鳥淵夫妻は、



街外れの丘の上にあるミケランジェロ広場に立ち、日本での披露宴と同じ衣装で、改めて記念撮影した（＝写真上）。背景にあるのは、当市の象徴であるサンタ・マリア・デル・フィオーレ大聖堂（略称ドーム）だ。晴れ渡った4月のフィレンツェの空を、2人の未来を祝福するかのよう、大聖堂の鐘が鳴り響くのであった。

〈解説〉 鳥淵博文氏がいよいよ結婚したことは、日本国民だけでなく全世界・全人類にとつての慶事である。それは、正直者はいつか必ず報われるという真理が、改めて証明されたからだ。

今ほど世界各地で「正直」という言葉が重みを持つ時代はない。ウソツキ金丸・竹下だけの話ではない。核疑惑の北朝鮮、汚職とマフィアのイタリア、アホのサダム・フセインなど、あまりにも情けない話が多すぎる。

そんな中で、久しぶりに聞いた正直者・鳥淵氏のニュースは、まさに一服の清涼剤である。

（丸山編集委員）

E' IMPORTANTE PER TUTTI NEL MONDO
L'ONESTA' DI VITA

HO VISTO 「GIRO」 !

購方産(有誌一)

RIMANGO A FIRENZE ANCORA

鳥淵氏の顔をよく見ると、額(ひたい)の辺りに「正直」、左頬(ほ)の辺りに「誠実」という二つの文字が、くっきりと浮かび上がっている。また、新婦の朋子さんの顔には、しっかりと「幸せ」と書いてある。正直で誠実で幸せな夫婦にできる子供は、これまた正直で誠実で幸せに決まっている。

今、世界に求められているのは、この二人のような夫婦だ。ファッションセンスに関しては？マークの付く鳥淵博文氏であるが、ライフスタイルの面では実は世界の最先端にいるのだ。

丸山兼也氏は4月5日から、フィレンツェ大学付属文化センターという所に通い始めた。午前には語学、午後はイタリアの歴史、文化、政治・経済などを学んでいる。帰国は7月中下旬の予定。語学力に関しては、「気合いでなんとか相手に通じさせている」というのが偽らざるところ。ただ日々の暮らしや旅行はバッチシOK。イタリアにお越しの際は、(丸山)旅行社に一声掛けていただければ、ホテルや鉄道の手配をいたします。ご利用ください。

(国際TEL, 001-39-55-280922)



(丸山兼也・熊香父子、シチリアにて)

4月4日付の「日本経済新聞」(社会面)で、WCC・OBである伊藤治郎氏の勇姿が掲載された。元気そうな後輩の姿を見て、とてもうれしい！

ところで、WCCの言うところの「サイクリング」には、大きく別けて「スポーツ」と「旅」の二つの意味があると思う。前者の醍醐味(だいごみ)は「爽快な汗」であり、後者のそれは、たぶん「いろんな人との出会い」であろう。

WCCを卒業後、ほとんど乗っていない丸山氏ではあるが、「旅」という意味では今の自分はWCCの延長線上にあると考えている

夏冬

◆…「新郎をけなし新婦を持ち上げる」というのがマルヤマ新聞(旧「早稲田経済新聞」)の編集基本方針であるが、今回ばかりは勝手が違って困った。それは、新郎が樋口氏や山田氏でなく、あの

鳥淵氏だからである。◆…「あんないい奴、見たことない」(松広氏)と同期は言う。「とてもお世話になりました」(樺木氏)と後輩も言う。また、不肖この筆者も、鳥淵氏の四畳半下宿で何泊かさせてもらったの

である。◆…が、そんないい奴はこれが最後だ。筆者の同期ではタネさんと磯野が残っている。下を見れば上田、ナガオカ、ハマ堀……。ヘンなのが続々という。まだまだ新聞のネタは尽きない。

ザ・フィレンツェ・マルヤマ新聞

IL GIORNALE FIRENZE DI MARUYAMA

会C/O MATHES
Via Pandolfi
ni 21
50122 FIRENZE

HO DECISO LA DATA DEL "X" CHE TORNERO' E' CIRCA PRIMO AGOSTO

フィレンツェ留学・丸山兼也氏(33)が、「8月1日」メドに帰国する。残すところわずか2ヵ月余。

現在通っているフィレンツェ大学付属文化センターでは、①文法・会話②政治・社会史(第1巻・第2巻)③経済の諸問題④芸術史⑤古典読解⑥現代美術⑦ダンテとその時代⑧フィレンツェ文化⑨古代エトルスキ文化—の盛り沢山の授業を受けている。

授業は月一金の通常8:45-17:00。丸山氏は7:50のバス、もしくは徒歩で通学している。また、途中13:00-15:00は昼休み。一度家に戻って食事してまた出掛けるので、実質一日に2回通学している。

先生はみなフィレンツェ大学の教授陣。専門が多岐に渡っているので、今後とも何かと便利だと思われる。

つい先日「日伊翻訳」の授業が新設された。永井荷風「墨田川」、昔話の「笠地蔵」、毎日新聞「余録」などを題材に日→伊翻訳を試みる。担当のカルツォーリ氏はフィレンツェ大学教育学部教授(日本学科)。生徒は日本人・日系ハワイ人の計8人。丸山氏以外は皆20-30歳の女性。ここ外国に在っても、日本人は女性の方が元気がいいようだ。



写真上=カノラの航行も盛り沢山の山氏であった
(フィレンツェ観光の丘の上の街、フィエーゾにて撮影)。

● CALCIO!

カルチョ(サッカー)はイタリアの“国技”であるが、実はたいしたことがない。先日、イタリア代表チームがスイス代表に0-1であっけなく負けるのを見た。ミラン、ユベントス、インテルなどのプロチームは欧州でもケタ外れに強いが、これは南米を始めとした外国人助っ人の活躍に負う所が大きい。純粋イタリア人チームは“並”だ。

メード・イン・チャイナの品物がやたらと目に付く。ここイタリアだが、産業だけでなくスポーツの分野でも、いわゆる「空洞化」が進んでいると見た。 罫

ZANZARE

またも蚊が湧いてきた。丸山家では「蚊野郎ブッ殺せ」を合い言葉に戦っている。これだけ蚊が多いのを見ると、中世イタリアでマラリアが流行したのうなづける。また、台所にはアリ野郎がばっこにいる。

UN'INTERVISTA A SINDACO DI FI. MORALES: SICURA DA TERREMOTO

フィレンツェのジョルジオ・モラリス市長はこのほどマルヤマ新聞記者の取材に応じ、同市には今後とも地震が来ないだろうとの強い見通しを示した。

フィレンツェ大学の始業式に来賓として招かれたモラリス市長は「芸術の都・フィレンツェ」をテーマに約20分講演した後、廊下で記者の突撃インタビュー(要すに立話)に応じた。一問一答は次の通り。

問： 将来もしも地震が来たらフィレンツェはどうしますか。石造りの町なので心配なのですが……。

答： 大丈夫。ここは震源の無い安全地帯なのです。先の地震(1908年のイタリア南部地震)でもここは何も無かった。

(解説) 中世ルネサンス時代に街が出来上がったフィレンツェは、新築地でも壊れている丸山記者の目から見るとまさに「地震が来ればイチコロ」の都市だ。歴史的建造物の大半は石を積み上げただけの簡単な構造。

YUKA SEMPRE: NO!



彼れを知らない元来は貴族さん。平素、顔は赤い顔でとても愛される。

従来は「いやだ。いらない!」と日本語でダダをこねていた丸山優香さん(2)が、最近「ノー、ノー」とイタリア語を使うようになった。お母さんが「お片付けできますか」と聞くと「ノー」、街で見知らぬおばさんが「可愛いね」と声を掛けてくれて「ノー」。ほんとに愛想がない。

とはいえ現金なもので、八百屋のおばさんがブドウを2-3粒くれたりするとちゃんと「グラッツェ」とお返事する。元氣だ。

STRANO CHE...

チャンピ新内閣の閣僚呼び込みを見ていたら、なんと原付バイクで官邸に来た人物がいた。ルッティ環境相。ノーヘルだった(注:数日後、同氏は「こんな内閣はダメだ」とタンカを切って辞任)

夏冬

◆…夜は子供が起きているので、宿題は毎朝4時に始める。6時半頃にはようやく薄明るくなり、窓を開けて冷たい空気で深呼吸する。フィレンツェは盆地の中にあるせいか、どこか大気のおお甲府

盆地と似ている。学生の頃、JR韭崎駅の地下道で寝て、早朝目を覚ました時のあのすがすがしいにおいだ。◆…中庭から空を見上げると、たくさんツバメが舞っている。こちらのツバメは日本よりふた周りほど大

きく見える。7時ともなればもう完全な朝。教会の鐘があちこちでカーンカーンと鳴り始め、道路ではゴミ収集車がゴォーと騒音を立てる。◆…さて、あと2ヵ月ばかりとなりました。 罫

ザ・フィレンツェ・マルヤマ新聞

IL GIORNALE ALLA FIORENTINA DI MARUYAMA
伊 国 花 乃 都 的 丸 山 新 聞新所 : マルヤマ新聞社
C/O MATHES
VIA PANDOLFINI 21
50122 FIRENZE ITALIA
☎ 001-39-55-28.09.22
丸山兼也・伊津子・優香C'ERANO AUTOBOMBE A ROMA, FIRENZE. MA NON ABBIAMO PAURA.
TUTTI NEL MONDO DOBBIAMO COMBATTERE MAFIOSI E TERRORISMO.

MAFIOSI, DIO VI PUNIRA

SERVIZIO DI KENYA MARUYAMA

マフィアが爆弾テロ攻勢を強めている。反マフィアのジャーナリスト暗殺を計り(ローマ、5月14日)、貴重なルネサンス文化の博物館爆破を試み(フィレンツェ、27日)、とうとうチャンピオン暗殺まで狙うほど(ローマ、6月2日)。市民の間では、「次はどこだろう」「ミラノ辺りが危ないのでは」などとヒソヒソ話が交わされている。

なかでもフィレンツェのテロが市民に与えた衝撃は大きい。警察署や銀行等だけでなく、美術館というイタリアの「誇り」そのものを狙った点で、「従来のマフィアのやり口から逸脱したもの」(フィレンツェのシムネ・ガッリ)だからだ。「マフィアと市民の全面戦争が始まった」(雑誌 LA NAZIONE)。

実はローマ法王ヨハネ・パウロ二世が5月9日にマフィアの「ふるさと」シチリアを訪れ、ミサでこう講話した。「マフィアたちよ、神が汝らを罰するであろう(Mafiosi, Dio vi punira)」。一連の爆弾テロはその直後から始まった。

マフィアは市民、国家、そして彼等の信じる(?) 神まで敵に回して戦を始めたわけだ。とすれば、もはや孤立無援、勝ち目が無いのは明らか。

というが建て前の部分の話。しかし、丸山氏の見るところ、事はそう簡単ではない。良く言えば「組織より人」、悪く言えば「いなかげん」なイタリア人質そのものの中に、マフィアがこれからも生き続け、活動し続ける素地がある。響



ミッキー・マスのおもちゃのギターを弾きながら、マフィアについて語る丸山氏であった。

【IL 27 MAGGIO '93】

その夜、丸山氏はなんだか大きな音がしたような気がして目が覚めた。窓ガラスがビーンと震えており、確かに何かがあったようだ。時計を探すと1時10分前後。「大きなカミナリだなあ。明日は洗濯やめとこ」と考えながらまた寝てしまった。

翌朝の新聞を見ると『ガス爆発か?』。学校から帰る途中に現場へ寄ってみたがすでに一帯は立ち入り禁止。ウフィッツ美術館は外見はなんともない。

が、午後になって号外が出た。見出しは『时限爆弾』。「ええっ」と驚いたが時すでに遅し。翌28日にはチャンピオン首相、スカルファロ大統領が相次ぎ現場視察に訪れるなど、一気に世界的な大ニュースに。「あの夜、カメラ持って走っていれば…」と反省。

マルヤマ新聞社
トトカルチョで

巨額損失 210億、強

YUKA: L'OMAR E' RIUSCITA



「ドン・ドン」と言いながらベッドで寝る。元就(元就)

「やったー、おまるでおしっこー」。両親の長年の指導が実を結び、丸山優香さんがいよいよ成功した。

おまるだけではない。レストランのお便所、公園の草の上などでも、おかあさんと一緒に「おしっこー」。夜は念のために紙おむつをするが、朝までチビらず我慢できることが多く、お目覚めとともに「おしっこー」と言うほどのおりこうさんだ。

ただ、用を足した後のパンツはまだ親の助けが必要。1日に10回も20回も「おしっこ出るー」。その度に「パンツはかせてー」。親は少々疲れてきた。

マルヤマ新聞社がトトカルチョ(国営サッカーくじ)の投機に失敗、210億(約1600万円)もの巨額の非実現損失を計上したことが、8日、明らかになった。

丸山社長によると、同社は5日、カルチョ(サッカー)Aリーグのトトカルチョに最低掛金である1600円(約120万円)もの大金を投資、賞金210億(約1600万円)を夢見たが、見事にハズレた。「当たれば得られた賞金を逃してしまった。これは“非実現損失”である」(非公認会計士協会)とされる。

注) 丸山氏、賞金1600万円だけ。損失は210億(約1600万円)です。

OGGI, L'ESAME

6月15-16日は丸山氏が通うフィレンツェ大学付属センターの試験日。文法、会話、翻訳(日→伊)日後に判明する予定。

GIRO DELLA EUROPA

帰国を目前に控えたフィレンツェ丸山一家は、中国共産党の故事に倣って、丸山一家の「长征」の旅に出る決意だ。「激動の欧州」をこの目で見て回るとともに、各地で実戦語学力を磨くのが狙いだ。フィレンツェを起点に時計回りでスペイン・フランス・ドイツ・オーストリアと進む予定だが、詳細は未定。各国で列車時刻表を購入しながら進路を決め、期間は2週間強になると見られる。

UFFIZI: SI RIAPRE

爆弾テロの打撃で休館中のウフィッツ美術館が6月18日から再開する見通しとなった。ポッティチェリ「春」などが再び見れる。観光客にはうれしい知らせである。

の3科目で丸山氏はこれまでの成果を問うが、「自然体で臨むのみ」と丸山氏は話している。試験結果は数日後に判明する予定。

夏
冬
夏
冬

◆…不謹慎ながら本音を言えば、丸山氏を含むフィレンツェ人にとって、ある面で爆弾テロよりもっと悲しい事がある。それは、地元サッカーチーム「フィオレンティーナ」(ACF)のBリーグ落ちだ。欧州選手権優勝の経験もある名門チ

ームだが、今シーズンは優勝したミランの勝ち点50に対し同30と全くの不振。Aリーグ18チームのうち、下位4チームの一角を占め、創立55年余、初めてのBリーグ落ちとなった。

◆…地域ごとのライバル意識が強いイタリアでは、地元チームに郷土愛

が凝縮される。6日のリーグ最終戦、当市スタジアム周辺には入り切らなかったファンが多数たむろし、お年寄りまでラジオ片手に「ウォー」と一喜一憂。◆…地元意識高揚と東京への文化一極集中回避の観点からも、「ベルディ」でなく「ベルディ」であるべき。

ザ・フィレンツェ・マルヤマ新聞

IL GIORNALE ALLA FIORENTINA DI MARUYAMA
伊 国 花 乃 都 的 丸 山 新 聞新所: マルヤマ新聞社
C/O MATHES
Via Pandolfini 21
50122 FIRENZE ITALIA
☎001-39-55-28.09.22
丸山兼也・伊津子・優香6
月
29
日
に
撤
去DIECI MESI SONO GIA' PASSATI DI CORSA, COME SE FOSSE UN SOGNO.
MI DISPIACE PARTIRE ADESSO. GRAZIE FIRENZE, NON TI DIMENTICO MAI.

FIRENZE, ARRIVEDERCI!

di KENYA MARUYAMA

フィレンツェ丸山一家は、7月26日成田着のタイ航空便で帰国する。その後の数日間を、帰国に伴う事務処理と休養に充ち、8月2日から心機一転、流通経済部に職場復帰する方針である。よろしく願います。

月並みな表現だが、長いようで短いこの1年弱であった。ミラノ・マルペンサ空港に着いたのが昨年8月17日。フィレンツェに居を構え、学校に通い、イタリア料理を食し、たまに国内を旅行し、そうこうする内に、アッという間に帰国の時が来てしまった。

この間、イタリアの政治経済は大きく揺れ動いた。政治家や経済人が汚職やマフィア疑惑で相次ぎ逮捕・



辞職、通貨リラはダウンと音を立てて下落、そして、マフィアが仕掛けた本物の時限爆弾までドーンと近所で爆発した。とはいえ、日々の暮らしは淡々と流れている。不況とはいえ夏のパカン

スはしっかり1ヵ月も休む。商店は毎日12:30-15:30は昼休み。お父さんは昼・夕食とも家族と一緒に。そこには、何が起きても動じない、イタリア独特の「余裕」がある。この余裕の源泉はどこ

フィレンツェの暮らし!

にあるのか? たぶん、それは「家庭」だと思う。「家庭を大切にすることから米國再建を始めよう」と言ったのはクリントン大統領だが、こ

MI SONO LAUREATO

丸山氏はこのほど、フィレンツェ大学付属文化センターを卒業した。卒業試験の点数は、26点(満点30点)。ちなみに日本式の100点満点に換算すると86.7点となり、これは丸山氏にとって「15年前の大学入試に見えたこともない良い点数」である。

当初はクラスに37人いたが、次第に授業に来なくなる脱落者が増え、最終試験を受けれたのはわずか10人強(出題85%以上の解答率)。試験は日本で行ったところの小論文。A4サイズの答案用紙8枚を、制限時間わずか2時間で埋めなければならない。翌日、その答案をもとに先生と1対1で約20分間の質疑応答。この小論文と質疑応答の結果を総合判断し、点数が決まる。「われながらよくやった」と自画自賛している。

VINO VINI VINISSIMO!



"NIKKEI" SU TV

最近、当地のテレビCMで、「NIKKEI」の文字をよく見る。ある投資銀行が「ダウ・ジョーンズ?」「ニックイ?」「それともMIB(ミラノ・ブール・インデックス)?」「投資のご相談は当行へ」と流しているのだ。画面一杯に、黒地に白抜きで、音声無しで約2秒間「NIKKEI」と出る。「日経平均株価」は日本の誇り。偉大だ。

SPOSA DEL (DIO) - ?

皇太子・雅子様との結婚は、当地でも新聞・テレビが一面扱い。広告宣伝費ゼロでこれだけ「日本」がマスコミに登場するのだから、お国の「対外広報担当」として皇室はその職務を十二分に全うしていると思う。当地の新聞に「(数回)神と結婚した」

ワインのイタリア語はビーノ。丸山氏が新しい銘柄に果敢に挑戦している。

丸山氏が好むのは、地元トスカーナ州キャンティ産の赤。これまでの経験から言うと、1本(750ml)5000円(約3700円)も出せば結構いいモノが飲める。丸山氏はこのところ特に研究意欲を高めており、妻・伊津子の協力を得ながら、ほぼ2日に1本のペースで探索を進めている。結論から言うと「どれも甲乙付け難く、要するに、みんな美味しい」。正直に言うと、今のうちに飲めるだけ飲もうという魂胆だ。

千客万来

UNA IDEA RIFORMATA

留学前には予想もしていなかった良い経験ができた。「子育ての父親参加」である。子供と一緒に過ごすのは週末だけ、という日本での暮らしと異なり、この約1年間は毎日子供と一緒に。「子育てがこれほど大変なものだとは思わなかった」。

子育てはほんとに疲れる。外で仕事を続けながら母親稼業もこなす人がどれほど偉大か、理解できた気がする。だから、新聞等で「出生率低下はわが国経済にとって云々」という上っ面だけの数字合わせの記事を見ると腹が立つ。「エラうな事を言う前に子供をウンチをシャワーで洗ってみろ!」



(「ワニ」記者の証言)

◆…フィレンツェの石畳の路地を歩いていると、時々ふと、ネパールの山村と同じ匂いがすることがある。あれは何なのだろうと、ずっと考えてきたが、先日、薪(き)の煙の匂いであることに気が付いた。調理の火に薪を使うオーストリア(国)がかなりあるのである。また、そうしたお店に薪を供給する仕事がある

のも分かった。牛肉のカタマリをかまどで、ジュージュー焼くのが当地の名物料理ビス・テッカ・アッラ・フィオレンティーナ。ガスではダメで薪で焼かなくてはならない。いかにも伝統を大切にしているイタリアらしい。◆…ここで疑問。ネパールの山村では観光客が増え、薪を伐りすぎた結果、ヒマラヤ

の山がハゲ山になりつつあるという。フィレンツェでは、ローマ時代の昔から薪を使ってきたのに、山がハゲ上がったという話を聞かない。◆…「必要以上に木を伐らない」というだけの事だが、この「必要」というのが難しい。何が本当に必要なのか、日本に帰ってからでも考えてみたいと思う。

山崎の日程

丸山一家は6月29日に現住所を撤去、約2週間の予定で欧州視察の旅に出る。激動の欧州をこの目で見るとともに、イタリア語がどの程度通用するか試してみる。

行き先はまだ不確定。フィレンツェでもユーレイルパス(欧州17カ国で列車1等車に乗り放題)が購入できる事が分かったので、これを最大限に利用する考えである。

「行き先未定、宿未定の旅で語学力を磨くつもり」と丸山氏は話

している。その後、再びイタリアに舞い戻る。そこから先は再び未定。

なるべくならば、再びフィレンツェに戻りたいと考えているが、さて。

いずれにせよ、衆院選挙の投票日(7月18日、25日?)には帰国できないので残念だ。

解説

当初、丸山一家は7月一杯フィレンツェにとどまるつもりだったところがアパートの大家さんとの間でちょっとした手違いが生じ、6月一杯で撤去する事に(詳細は読者諸君に任せ)。この結果、欧州旅行の日程が浮上したのだ。

ABBIAMO GIRATO IN TRENI CIRCA 15,000km

丸山氏は留学中の約1年間に、イタリア国内13都市にその足跡を残した。移動に利用したのは国鉄(FS)延べ利用距離は1万5000kmに達すると見られ、「イタリア国鉄、ありがとう」。

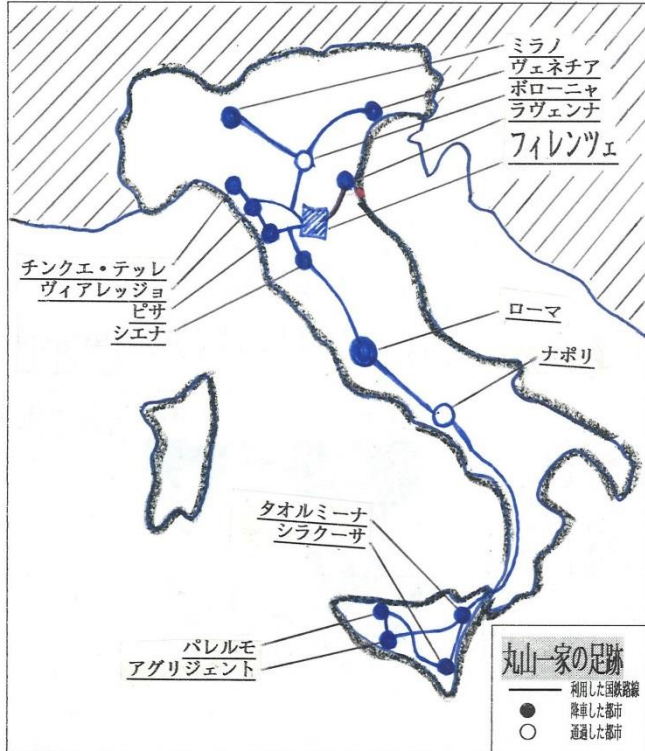
普通、急行、特急から、最高級の1等個室寝台まで体験した。

その中でも特に面白かつ

たのは、シチリアのシラクサからローマまで乗った特急列車約10時間の旅。1月4日、正月休みを終えて都会に戻る人達で車内は超満員。優香をだっこしたまま動くこともできず、通路ですずっと立ちんぼ。おしめから漏れ出したおしっこが丸山氏の衣服を濡らしたが、どうする事もできず、その

まま体温で自然乾燥させたのであった。

とはいえ、そんな例外を除けば概して列車は空いており、快適。予想外に時刻表通りに運行することが多く、また運賃は感覚的に言えば日本の約半分。イタリア旅行を予定される方には、列車を利用されることをお勧めしたい。



MIYAZAWA? CHIE?

「宮沢? だれ、それ?」。これが当地の現状だ。衆院解散・自民分裂のニュースを、イタリアのマスコミは大して重視していないようだ。テレビニュースでは報道もしなかった。わずかに、全国紙[LA REPUBBLICA]が国際面で取り上げた程度。皇太子の話が当地でも大きな話題になった後だけに、よけいに落差が目立つ。なんとなく寂しい。選挙班の方は頑張ってください。

PICCINI

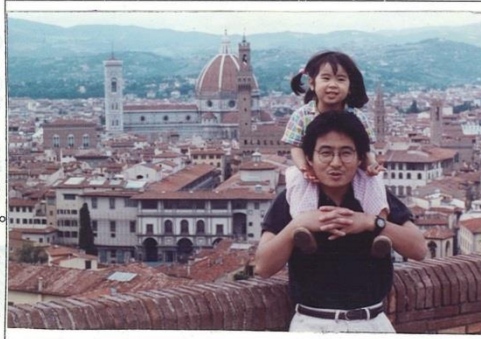
自宅ベランダでハトの餌付けに成功した。片方の足の指が1本しかない身体障害者のハトが来る。餌はタイ米、パンくず等。

このハトは、当初はガリガリに痩せていた。当地のハトは公園・広場に集団で飛来し、観光客から餌をもらうのを生業としているが、このハトは他のハトにいじめられていつも餌を横取りされていたものと思われる。が、餌付けにより急速に健康が回復した。優香が、朝・昼・夕と3日連続でタイ米を与えたところ、みるみるデブになった。

IO SONO SOTTO L'IMPRESSIONE DELL' ETRURIA

その昔、イタリアの地にはエトルリア人と呼ばれる人達が住んでおり、以後のローマ文化に多大な影響を与えた。授業でわずか10時間「エトルリア文化」を受講したが、とても感動したのでご報告する。

紀元前8世紀頃に彼等が描いた壁画等が残っている。素晴らしいのは、当時(?)の日本の遺跡から出てくる土偶(どぐう)がまったく無表情なのに対し、エトルリアの壁画の人物は笑っているのだ! 今からざっと三千年も前から、すでにイタリアの人たちは笑い、日本人たちはブスっとした顔をしていたのだ。基本的に明るく楽しいイタリア人気質の原点を見た気がした。



(フィレンツェの近くにも古代エトルリア人の墓前国家があった)

AVVISO

(お知らせ)

長らくご愛顧いただきました「ザ・フィレンツェ・マルヤマ新聞」ですが、この度、諸般の事情から、この第11号をもちまして、とりあえずの

発見! おもしろ商品

先日、失業者の職よこせデモを見物に行き、おもしろい商品が発見した。自分の意見を主張するのがデモ、それなら大きな音を出した方がよい。この商品は、殺虫剤スプレーのようなガスボンベの先っぽに、大型トラックのクラクションのような音が出るホーンをくっつけたもの。スプレーをシュートと一吹きさせると、「バオオ〜」と信じられないほど大きな音が出て、お腹の底から響く。

日本のデモでよく見られるシュプレヒコールは、当地ではあまり流行らない。押し着せの統一行動は嫌われ、代わりにデモの波のあちらこちらで勝手に楽しく盛り上がる。その際、この「バオオ〜」は威力を発揮するのだ。

日本もそのうち「楽しくデモする」時代が来るかも知れない。その際、失業者デモでさえ明るいイタリアに学ぶべきもの(物)があるのではなからうか。

打ち止めとさせていただきますに相成りました。約1年もの長きにわたり、発行を続けられました事を、皆様方に感謝いたします。それでは。チャオ!

謹賀新年

御おめひ
車の安売りをいたします。
特にニッサンは格安。

賀正

こちらはトヨタ、安く
売ります。御マダ

保険はこちらへ
御キタハラ

生損保なんでも受領。御
気軽にお声を。

堅実一筋

御磯野磯野
(爆破・取壊)

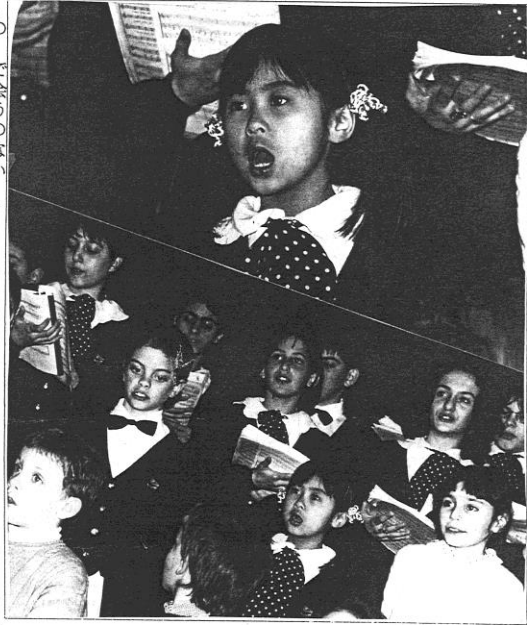
人生相談

アナタハ、カナラズ、スクワレマス。
呪文は簡単「ウノ、ウノ、ウノ、プ」
(代表取締役) Uno.Voo

年末合唱、スイスでも：優香さん楽しむ

丸山優香さんは、課外活動として「コーラス」をやっています。今年はどういう訳か、年末に4回もコンサートがあり、そのうちの1回は、隣国スイスの教会で歌いました。

遊び半分・真面目半分と思って通っていたコーラスの課外活動ですが、どうも、このまま頑張って上級クラスに行くと、正式な教会の合唱団として、あちこちで歌う、ウィーン少年少女合唱団のような存在になるようです。「楽しいなら続けたい」というのが親の方針ですが、優香さんは、イタリア語やラテン語やドイツ語の歌などを、「おもしろいよー」とか言いながら、友達と一緒に歌っているのです。「子供は耳がいいんだな」と感心しています。



広告

業績絶好調のミラノ丸山産業

ミラノに本拠を置く丸山産業の業績は好調である。主な取引先は「日本経済新聞」の朝・夕刊、「日経流通新聞」「日経産業新聞」「日経金融新聞」であるが、こうした得意先に97年の1年間に、少なくとも250本の記事を納品した。量の多さだけではなく、納期の正確さ、品質の確かさをもって、ブランドの『ミラノ＝丸山兼也』は世界で高い評価を得ているのだ。ガンバレ丸山産業との声が、多くの取引先から寄せられているのであった。

イタリア中部で地震

11月16日、イタリア中部のフィレンツェ近郊で、マグニチュード2.5の地震が発生した。被害は軽微と見られるが、数人の負傷と建物への被害が報告されている。

イタリア経済界に悲劇

2巨頭、影響力衰えず

後継者なく、変革で旗振り役も

イタリアの経済界に悲劇が上演された。長年にわたって国をリードしてきた2人の巨頭、その影響力が衰えつつある。後継者が見つからないため、変革の旗振り役も果たせなくなっている。

わが国初の新ビジネス!

御風と波

社長：沖広達也

問い合わせは直接どうぞ。

新年のお慶びを申し上げます

御小川、御せ、御オルマエ

～ 驚異の新会社 ～

御タカハシ (旧社名タネサン)

損はさせません。取り急ぎご一報を!

年末年始は「アンダルシア」に

丸山一家は12月31日から1月6日までの間、スペインのアンダルシア地方を旅行することに決めた。イタリア人の団体ツアーと一緒に旅行に行く。ミラノの冬は霧だらけ。そのため、太陽を求めてスペインの南部に行くことにした。魚料理に期待しているが、地中海マグロは心無い日本の商社に買い占められて品薄になっている模様だ。ひどい話だ。

まっすぐ生きよう

ドイツなどからはいつも「お荷物」と言われてきたイタリアの政治・経済ですが、このところの改革ぶりは凄まじいです。インフレは収束して、昔は年19%もあった公定歩合が今は5・5%です。GDPに占める財政赤字の比率も、一昨年までは6%台もあったのですが、97年は3%、98年には2・7%に低下します。なんでイタリアがこんなに頑張ったかと言うと、それは「欧州通貨統合」に参加するために、赤字の少ない、普通の国に生まれ変わらんと、他の国に相手にしてもらえないからです。

99年には、仏フランも独マルクもイリラもすべて、欧州の国の通貨が「ユーロ」という新しい単一通貨に生まれかわります日本人のツアーの人も、いちいち両替しなくてもよくなります。なんだか、新しい事が、欧州で始まろうとしています。日本で今、最も欠けているものは、将来のデザイン、「創造力」かも知れません。

今年よろしく!

ミラノ丸山産業御を、今後ともよろしく願います。メザシスルメの差し入れを、常時歓迎いたします。

《諸事通信欄》

紙面中のホラ話の内容については、常識の範囲でご理解ください。

Milano Maruyama Shimbun

ミラノ・まるやま・シンブン

《発行所》 〆〆〆

C/O FORUNASARI
VIA INGANNI 76
20147 MILANO ITALIA

《発行人》 〆〆〆

Kenya MARUYAMA
(丸山兼也・伊津子・優香)
TEL/FAX 001-39-02-418671

「WAR IS OVER」

(戦争はもうやめじゃ)

サナダムシ・フセイン大統領が隠居
本紙記者との年頭単独会見
老後、クリントン氏と将棋の日々

【バグダッド＝丸山兼也】授業中に隣のクラスに出掛けて弱い者いじめをしていたイラク組の乱暴者、サナダムシ・フセイン君が、心を入れ替えて立派な大人になった。ミラノ丸山新聞と会見したフセイン君は、「もう悪いことはしません」と約束した。また、かつてのライバルだったアメリカ組のスケベなボス、クリントン氏とも仲直りのすることを誓った。

クリントン君も「もうミサイルを撃ったりしません」と頭を下げた。巡航ミサイルの『トマホーク』は一番安いもので120万ドルもする。クリントン君は「弱い国民から税金をカツアゲしてミサイルを買うのはやめます」と改心した。

そして、年を取って温和になった二人は、毎日、将棋を差しながら、仲良く暮らしましたとき。

以上、1999年の正夢として期待しましょう。今年もよろしくをお願いします。

丸山優香さん、3年生に進級だ

丸山優香さんは4月から小学3年生になる。心清く正しく美しく、スクスクと育っている。親が言うけどこれは親バカではないのだ。イタリア人の現地の小学校から、ミラノの日本人学校に移った当初は、「個性を伸ばす」を主眼とするイタリアの教育と、管理主義の日本の教育との雰囲気の違いに戸惑っていた優香さんだが、最近では素晴らしい担任の先生の指導のおかげで、本来の元気で活発な優香を取り戻した。詳しいことを知りたい方は当新聞にお電話ください。積もる話もあるでしょうから、丸山商会の伊津子副社長がご相手いたします。では。

酒は「若葉」

日本一の造り酒屋はココだ。
岐阜県瑞浪市の市民に聞いて知らなかったらモグリ。
名声轟四海乃至五、六海！

ノルウェー市場を手中に
年末にはトルコに進出 丸山商会 勢力圏を拡大

ミラノを本拠とする丸山商会が、着々と市場を拡大している。98年の夏には、新潟・松山の双方の両親とともに北欧のデンマークとノルウェーを旅行してフィヨルド地域に勢力を広げた。また年末の25 (金) から30 (水) まで、親子3人で、トルコに旅行する。ミラノからイタリア航空の格安チケットで飛んで、istanbulに入り、その辺をあとこち見て回るつもり。

96年の9月に、ミラノに支店を開設して以来、丸山商会は欧州各地をアチコチと旅行してきた。それ以来、約2年が経ったので、そろそろ一時帰国もしてみようかなあ、と検討中。早ければ99年の春休み頃に、親子そろって2週間くらい日本に行くかも知れない。

今の所、詳細な日程などは固まっていますが、その時にはまた改めてご連絡いたします。その際には、

もしも皆様とお会いできる時間がありましたら、いろいろと酒などを振る舞って戴ければ幸いです。ミラノには「居酒屋」が無いので、日本酒やイカの塩からや、貝の刺身など喰いたいです。



スミのサンモリツの山なみ

〔余斗説〕

楽しく生きよう (2)

昨年98年1月1日付けの斜説も同じテーマでしたが、「楽しく生きる」という事の大切さは、益々、一段ととても重要になってきていると思います。

早稲田大学サイクリングクラブの皆さんは、あの4年間 (もしくは5-8年) を今に生かしておられますでしょうか。これは私自身への問いでもあります。

あのスゲエ先輩から学んだこと、あの「しょーもねえ」同期に世話になったこと、あの後輩連中と……

「楽しかった学生時代」から、早くも15年が経ち、実年齢がもっとも上の樋口主将や、顔でなく精神年齢では最も若い勝社社長も、みんなもうすぐ40歳。

内田副将の「修身」の講義でも聞きたいものです。

謹賀新年

賀正 ガチョ〜ン

株式会社・沖広

磯野イロー

総合力のパートナーあー

キタハラ保険相互

(有)おめひ

(日産車、高く売りマ)

(有)かさまつ

(ふと、思い出し、お特製)

不況なんて知らん。俺はフェラーリに乗るんだ、という人を造る

念仏より張り手

打倒 マツモトキヨシ

(株) 痔薬のウチダキヨシ よお〜、効きます。

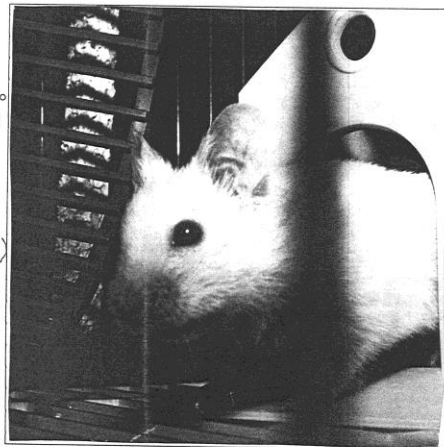
驚異的新記録 ヴィーノ350本飲み



丸山社長は96年9月以来、飲んだヴィーノ（ワイン）のラベルを集めている。このほど350本を突破した。いろいろと飲んだ結果、「どれが美味しいヴィーノなのか分かってきた」。書物で覚える勉強ではなく、体験を積み重ねて、自称ワイン博士と言えるまでに成長した。ワイン選びに迷ったら、丸山商会にお問い合わせくださいませ。

「ジェリーくん」が元気

丸山商会はハムスターを飼っている。名前は「ジェリー」くん。優香さんが飼育係。ネズミは、犬やネコに比べるととても「おばかさん」なので、そこがまた可愛い。昼寝して、食べて、遊んで暮らす「ジェリー」くんであった。



元氣ハムスターの「ジェリー」くん。のんびりした顔で生きている。

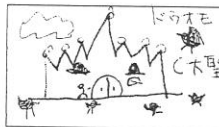
広告 新聞を読もう

「ミラノ＝丸山兼也」ががんばっている。98年には約500本の記事が掲載された。内訳は「日本経済新聞」（朝・夕刊）に240本のほか「日経産業新聞」に190本、その他が「日経流通新聞」「日経金融新聞」に掲載された。

そんな訳ですから、ちゃんと毎日、仕事をしており、お給料ももらってますので、ご安心ください。

広告 「ミラノ日本人学校 校歌」 紹介

1. ドゥオーモの塔に光さし
今日も明るく聞かれる
これがミラノの我が母校
誇り高く美しく
世界の人と手をつなぎ
共に歩もう未来の道を



2. 古城の壁に輝く
今日ものびのび芽生えゆく
これがミラノの我が母校
美しく思いある
力強くおらかに
世界の人と手をつなぎ
共に学ぼう平和の教え

3. スカラの窓に灯がともり
今日も優しく育ち行く
これがミラノの我が母校
品美しく思いある
世界の人と手をつなぎ
共に創ろう豊かな国を

欧州単一通貨「EURO」誕生

99年1月1日から、欧州単一通貨がスタートします。通貨の名前は「EURO」。参加する国はドイツ、フランス、イタリアなどの11か国。イギリスはとりあえず参加しませんが、何年後には参加するでしょう。ギリシャなどもそのうち参加します。

現在のリラ、マルク、フランなどの通貨は、2002年まではそのまま使えます。けれども、2002年からは、「EURO」の紙幣や硬貨が市中でも流通するようになり、その年の6月くらいからは、リラやマルクはもう使えなくなります。

そんな訳ですから、丸山商会がミラノに居る間は、イタリアでの生活は、リラで何の問題もありません。余談ですが、「EURO」は英語読みでは「ユーロ」ですが、当地イタリア語では「エウロ」ドイツ語では「オイロ」です。

98年の年末に、リラやマルクやフランと「EURO」の交換比率（不動の固定レート）が決まります。1EUROでおおよそ2000円になる予定です。1EUROは140円くらいでしょう。立ち飲みのカフェ1杯が1EUROの感覚でしょう。

祝・EURO誕生

新年あけましておめでとうございます。
ついでに、EURO誕生もめでたい！
謹んでお慶び申し上げます。

謹賀新年

天下泰平、天正小判、
風林火山、武田信玄、
花より団子、猫に小判、
ロッテ歌のアルバムと
来たもんだあ〜！
（街不条理ナガオカ九州）

御礼
代表取締役社長 丸山兼也
同 副社長 丸山伊津子
同 丁稚 丸山優香

御礼ねさん
今年もやるぞ
ぐわっし！

御礼ねさん
今年もやるぞ
ぐわっし！

御礼ねさん
今年もやるぞ
ぐわっし！

車買ったら納豆あげる
納豆買って車あげる
（御礼ねさん）

世界の天気 (99年1月1日)

- ・ミラノ 晴れ/夜はいつも霧
- ・ローマ 晴れ
- ・上尾 快晴カラッ風
- ・新潟 大雪
- ・松山 ボカボカ日和



※夏冬※ ◎…「今、わが国はあらゆる面で挫折している。直面する困難に立ち向かわなくてはならない」。これは日本の総理大臣ではなく、お隣り韓国の金大中大統領の演説の一節です。挫折し通しの人生を歩んで、やっと大統領になった金氏だけに、その演説にはグッと来る重みがあります。◎…イタリアでも、戦後初めて、旧

共産党から首相が誕生しました。マッシーモ・ダレーマという人で、まだ49歳の若さです。この人の演説も、何回も聞きましたが相当に立派なものです。言葉に勢いがあるし、内容もあるので、聞きながら「ウーームなるほど」と感じるころがあります。◎…別に早口にしゃべる必要はありませんが、日本の政治家の人も、もう少しスピー

ド感、リズム感のある話し方ができないものでしょうか。かつての角栄さんは、内容の是非は別として、話し方に迫力があつた。◎…外国から日本を見て感じるのは、政府レベルでも個人レベルでも、「表現」がヘタということです。不況で苦勞しながらも、国連の援助活動などに多額の貢献をしてんだから、自信持ってモノを言おう。

Milano Maruyama Shimbun

ミラノ・まるやま・シンブン

《発行所》

C/O FORUNASARI
VIA INGANNI 76
20147 MILANO ITALIA

《発行人》

Kenya MARUYAMA
(丸山兼也・伊津子・優香)
TEL/FAX 001-39-02 -418671

丸山一家、2000年3月帰国

ローマ法王も一家の帰国許可、『大聖年』(グランデ・ジュビレオ)を機に

〔パチカン25日＝丸山兼也〕

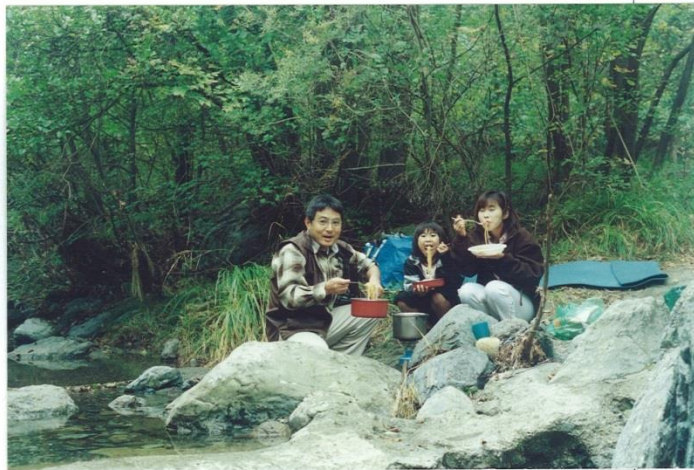
ミラノに住む丸山一家が西暦2000年3月に帰国することになった。一家は3年半ぶりに再び埼玉県上尾市の住民になる。

今回の帰国は丸山商店の親会社である日本経済新聞社が決めたもので、跡地には小林商店という新会社が建つ予定だ。

西暦2000年は、キリスト生誕2千年の大きな節目の年なので、カトリックの人たちは「大聖年」(イタリア語でグランデ・ジュビレオ)と呼ぶ。このため99年12月24日深夜に、カトリックの総本山パチカンのサンビエトロ寺院で、法王が大聖年を象徴する特別な「聖なる扉」(ポルタ・サンタ)を開く儀式がある。

丸山一家はカトリックではないが、せっかくの機会なので、物見遊山を兼ねて、クリスマスから年末年始にかけてローマで過ごすことにした。そんなわけで、今回はパチカンから日本の皆様に「謹賀新年」のごあいさつをさせていただきます。

あと2カ月ちょっとだけとなったイタリア生活。仕事も暮らしも、精一杯楽しむつもりです。年が明けると引越しの準備も始めなくてはなりません。「アリベデルチ、ミラノ」(さよならミラノ)の日が近付いて、次は「チャオ、アゲオ」(こんちわ上尾)になります。半分寂しく半分嬉しいです。

(99年秋、山の中でスパゲッティを食べる丸山一家。
イタリア・リグーリア州の国立自然公園内の渓流で)

《解説》

経済、政局、産業、社会、紛争、難民……

取材対象なんでもかんでも

……基本型はWCC(早稲田サイクリングクラブ)に

〔ミラノ＝丸山兼也〕のクレジット名で知られる丸山記者は「日本経済新聞」だけでなく「日経産業新聞」「日経流通新聞」「日経金融新聞」に大量の情報・分析記事を提供してきた。取材して記事を書くという作業は早稲田大学サイクリングクラブ(WCC)の5年間で学んだことがそのま生かされる素晴らしい仕事である。だからとても楽しい。

WCCが先祖代々伝えてきた極意とは何か。それは、「走ってれば着くさ」という、恐るべき楽観主義にほかならない。

コソボ紛争の取材で現地入り。でも宿がない。どうするか。WCCだから「まあ、何とかかな」と考えるしかない。

日本語も英語もイタリア語もわからない人との会話はどうするか。まあ、身振り手振りとかでなんとかなるさ。本当にこれで何とかしてきた。

丸山はWCC時代に日本全国と台湾、韓国、タイ、インド、ネパールを走った。イタリアの政治・経済の取材も、各国首脳サミットの取材も、アルバニアやマケドニアの難民キャンプの取材も、みんな、WCCのサイクリングの延長線の上にある。

早稲田校歌「都の西北」曰く、「集まり参じて人は変われど仰ぐは同じき理想の光」。みんなガンパロー!

ヌイベ選手、イタリアへ

WCC・OBで現在、世界放浪中のヌイベ氏が、近くイタリアに上陸する模様だ。10月にインドで投函された郵便がこのほど届いた。手紙には「来春にイタリア入り」とのこと。

丸山はこの手紙を会社で保管していたのだが、掃除のおばさんが間違えて捨ててしまった。丸山はeメール無くヌイベ氏に連絡手段なし。請助力。

清酒「若葉」飲みたい

ミラノで販売されている日本酒は輸出仕様の「月桂冠」とか「大関」ばかりなので、丸山一家はおいしい日本酒に飢えている。特に、丸山社長は一度も一時帰国していないので、新潟や岐阜のおいしい酒を飲みたい。よろしく

温泉に入りたい

イタリアにも温泉はあるが、日本のような温泉はない。

プールの温泉でなく、本当の熱い温泉に入りたい。新潟の松之山や湯沢、栃木の喜連川、松山の道後、秋田の、青森の……。行くぞ。

東芝ルボ JW95HD

この新聞は、東芝の恐ろしく旧式のラフプロで作成されています。その名も「ルボ JW95HD」モノを長く使うのはWCCの伝統です。

～車、売ります～

車種:ルボTwingo(金色)
走行距離:約40,000km
状態:ややボロボロ
売却:円換算5万円か。要相談

《天声うん語》

「……ワインばかり飲んで、……何ごとにつけて好奇心のカタマリよ、……ところが先日、丸山のオフィスの目の前と日本酒が飲みたくなるし、たまに日、うなイタリア人だが、こと「食」に関しては、「イタリア初の回転すし」がジャーン本酒が手に入ると次は函館のズルメを食い、保守的。海外旅行に行く時に、事前に家で、とオープンした。日本からお客さんが来る。」「わかるよな、その気持ち」とい、スパゲッティ用のソースを作ってタッパー、際、先方はイタリア料理を食いたいがうのが大方の日本人だと思うが、イタリア人は、に入れて持っていく人多し。一生をイタリア、こっちは回転すしを食いたくて困る、そうではない。料理しか食べないで過ごす人も少なくない。

除夜の鐘ゴ〜ン」 御おめひい こうなったらルノーも 売ってやるぜ。	イタリアで最も羽振りの いい会社です。金持 トヨタア <TOYOTAAA> ネチネチヤマダ商事	なにはともあれ 保険はこちらへ 強いぞキタハラ	堅実一筋 (磯野磯野磯野磯野磯野) (爆破・取壊)	人生相談！ ウノ ウノ ウノ ウノ	薬局ならマツモトキヨシ ウチノチンパン ウチノチンパン ウチノチンパン ウチノチンパン
--	--	--	--	--	--

優香さん、バジジョ選手と記念撮影



右から丸山優香さん、
福島涼太くん、バジジョ
選手、アレッシアさん。
アレのパパの勤め先の
関係で、バジジョ選手が
所属するイタリア・セリ
エA（1部リーグ）の
「インテル」の試合後、
ミラノ・サンシーロ球場
の控え室でご対面がで
きたのだった。

{通信欄}

ミラノ丸山一家のアイドルだったハム
スターのジェリー君が、99年12月17日
の朝方、静かに息を引き取った。享年
3歳あまり。老衰だった。

ジェリー君（通称ハム太くん）は、
生後3か月で丸山一家に弟入りし、
それから家族の一員として暮らしてき
た。犬や猫と比べると、はるかにおば
かさんなところがとても可愛らしく、
コメ粒やメロンの種、ヨーグルトなど
が大好物だった。

葬式は土葬。丸山家のマンション裏
の公園の片隅に埋葬した。 合掌。

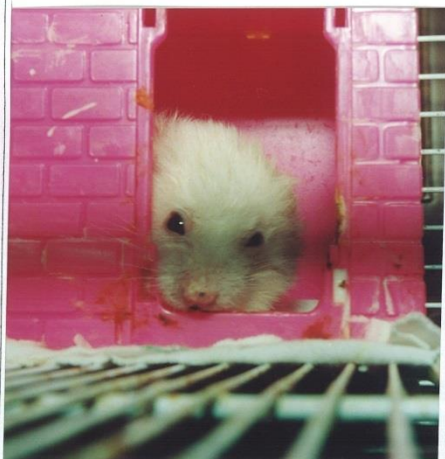
ジェリー君、死去

北はベルゲン、南はアンマン

丸山一家はミラノを拠点にしてあちこち旅行して回った。
以下は大まかなクロノロジーである。

- | | | |
|------------------------|----------------------|--------------------|
| [96年] | び着任（9月） | ■イスタンブール
（年末年始） |
| [97年] | ■アテネ旅行（年末年始） | [99年] |
| ■欧州アルプス・ペイオ
（夏休み） | ■クロアチア海
（夏休み） | ■トスカナの温泉
（夏休み） |
| ■スペイン・アンダルシア
（年末年始） | ■ローマ滞在
（年末年始） | |
| [98年] | ■ノルウェー、客船の旅
（夏休み） | |

このほか、丸山社長は仕事のため、
ロンドン、ブリュッセル、ケルン、
リヨン、モナコ、マルタ、カイロ、
アンマン、アテネ、テッサロニキ、
スコピエ（マケドニア）、ティラナ（アルバニア）
サラエボ（ボスニア・ヘルツェゴビナ）、ペオグラ
ド……などに足跡を残した。以上、
すべての町で丸山社長はションベン
をしておいつけした。
「万里の長城でションベンすれば
ゴビの砂漠に虹が出る」（緒不稀）



（若い頃はあんなにイタズラ坊主だったのに、と思う
うちに、いつのまにかよぼよぼになり、最期の3日間
で急にバタバタッと老け込んで逝ってしまった）
悲しみにめげず、新しい年を迎える丸山一家である。

あけましておめでとうございます。

丸山兼也
伊津子
優香

漢字検定7級ゲット

丸山優香さんはミラノ日本人学校
の3年生。4年生は上尾市立中央小
学校になる予定。

ミラノ暮らしながら、自分の意思
でがんばって「漢字検定」に挑戦し、
99年11月15日付で「7級」をゲット
した。よくできました。

2000年ヒット曲予想

「GLORIA A TE」に注目

欧州各国の空港の免税店などで、
「注目の最新作」として売られている。
サンビエトロ寺院で開かれたコンサート
を収録したもので、CDの名前は英語で
「Sacred Arias」。盲目の
イタリア人、アンドレア・ボチェリが
歌う。カラオケで原語で歌いたい人のた
めに、リフレイン部分を紹介しよう。

Gloria te, Crisr Gesu

（グロー・テ、ア・テ、クリスト、ジェス）

oggi e sempre tu regnerai !

（オッギ・エ・セムプレ、トゥ、レグネーライ）

Gloria te !, Presto verrai !

（グロー・テ、プレスト・ベッライ）

sei speranza solo tu !

（セイ、スペランツァ、ソー・ロ、トゥ）

宮崎-丸山の両母子、温泉へ行く

イタリアの学校は1月6日まで休み。
そこで、丸山伊津子副社長は、東京・
北区住人、磯野先生の義姉にあたる
宮崎伊佐子（ミラノ在住）さんと共謀
して、母子連れでベネト州のカルジミ
ニャーノという温泉に行く事にした。

「葛飾北斎」展が大人気

ミラノのドゥオモ（大聖堂）横の
美術館で開催中の北斎展が大人気。
国外に流出して日本に残っていない
本物500点が並ぶ過去最大の北斎展。

埼玉県の異色ベンチャー企業紹介

謹賀新年

（フェーラー販売）

（新聞安売り王）

（森羅万象販売）

川越市

浦和市

狭山市



「富田酒」「天野酒」が良い

大阪の地酒
結構うまい

大阪の地酒がけっこうおいしくことがわかった。酒の好きな丸山氏は「富田酒がうまい。天野酒もうまい。呉春も良い」と評価している。

寿酒造(高槻市)の「富田酒」のラベルには、芭蕉の弟子・基角の句が書いてある。「けさたんとめや あやめの」とんた

「呉春」もうまいぞ

さけ。上から読んでも下から読んでも「とんたさけ」。西條合資(河内長野市)の「天野酒」は金剛山のうまい水を使っている。うまい。呉春(池田市)の「呉春」は有名なだけあってこれまたうまい。このほか浪速酒造(阪南市)の「那智の白梅」なんかもよろしい。でも、瑞浪の「若葉」が最高だ。



これは地震雲か?

左の写真は大阪丸山自宅のマンションから撮影した雲。なんと

く変な形をしているため、「これって、地震雲？」と丸山一家で話題になっている。この写真を撮ったのは、たしか5月だったと思う。夜番の仕事を終えて未明に帰宅し、朝焼けの空を見た時、自宅の東方向にある生駒山の上にこんな雲が出ていた。この時に限らず、二〇〇五年にはちよつと変な雲がよく見えた。

おおさかまるやましんぶん 大阪丸山新聞

〒574-0041

大阪府大東市浜町 12-18

コアスターレ阪奈 901

TEL

072-870-3627

代表人

丸山 兼也

「きょうの一言」
ひとのものは
おれのもの
おれのもの
おれのもの
なんでもかんでも
いただきます
(作 海賊トラヒゲ)

イタリヤの街角、ではなく、和歌山市にあるポルトヨロバエというところで、12月24日



丸山一家

ついにパソコン購入

その昔、丸山一家は「東芝ルポ」という名のワープロを使って新聞を作っていました。しかし、先日、すごいパソコンを買ったのであります。詳しいことは良くわかりませんが、本体には「NEC MY28V」と書

かれていますので、相当にいいやつだと思えます。この新聞もこのNECを使って作っています。写真も「Canon」のIXYというデジタルカメラを買ったので、いろんなことができて楽しいです。すごい時代に



ほめてくれて
います。
とてもうれ
しいです。
おわり

うわけで、久しぶりに「丸山新聞」をつくってみることにしました。一家の大黒柱である兼也は、左上の写真では「とび職人」のように見えます。でも、そうではなくて、ちゃんと別の仕事をしてい

ます。

妻の伊津子は、自宅のパソコンを使って在宅で設計の仕事をしています。吹田市にある会社からイ

一志望にしてがんばります。ところで、大阪は暮らしやすくて良いところ。東京に比べて規模が小さいので家から会社まで三十分ほどで通勤できるし、みんな親切なので車の割り込みもすぐできるし、ゴミ捨てのルールがいいかげんなのでいつでもゴミを出せるし、中学生も「良い子」と「悪い子」がはっきりしていて分かりやすいし。大阪に引越してきてもうすぐ三年。これからどうなるのでしょうか。

ギョーザの丸正 焼肉の五光

大阪丸山一家が暮らす大東市の住道(すみの)地域には、すくおいしい店が多い。「ギョーザの丸正」はチビギョーザだけを売っているギョーザ専門店、丸山一家が重宝している。焼肉の「五光」は「住道で一番上等な肉」というのがうたい文句の店で、ほんとにおいしい。「五光」のある建物の一階には和菓子・洋菓子の「野崎小唄」がある。ケーキもおいしくて、丸山一家御用達である。



「コアスターレ」

マンションなら

積和不動産関西は住道周辺に3つの賃貸マンション「コアスターレ」を持っている。「コアスターレ」阪奈「住道」赤井のうら、丸山一家は「阪奈」に住む。



上の写真は「コアスターレ阪奈」だ。9階の一番右に丸山一家は住んでいるのだ。

《大阪府》

- ・ 上方温泉一休(比花区)
- ・ 箕面温泉 水春(箕面市)
- ・ 箕面スパーガーデン(同)
- ・ 虹の湯 二色の浜店(貝塚市)
- ・ 源気温泉 八尾おゆば(八尾市)

☆ 平野やまの湯(平野区)

☆ アビコ天然温泉Y.O.U・ゆ〜(住吉区)

- ・ くつろぎの郷 湯楽(住之江区)

☆ 箕輪の里温泉(東大阪市)

- ・ 風の湯 石切店(同)
- ・ 極楽湯 東大阪店(同)
- ・ 八尾グランドホテル(八尾市)
- ・ 源気温泉 万博おゆば(吹田市)
- ・ ミリカ天然温泉 千里の湯(同)

☆ ユーバス守口店(守口市)

☆ 極楽湯 茨木店(茨木市)

☆ 祥風苑 美人湯(高槻市)

☆ 鳥飼の里温泉(摂津市)

- ・ 極楽湯 泉北豊田店(堺市)
- ・ SPA Refre(同)
- ・ ユーバス堺浜寺店(同)
- ・ 楽天風呂 祥福の湯(同)

☆ 松原天然温泉 Y.O.U・ゆ〜(松原市)

- ・ KSB弥生の里温泉(和泉市)
- ・ 一番温泉 うぐいすの湯(富田林市)
- ・ クアリゾートはいから村(大阪狭山市)
- ・ 清児の湯(貝塚市)
- ・ クアオルトリバティ泉州(岸和田市)
- ・ だんぢり湯(同)
- ・ 牛滝温泉 いよやかの郷(同)
- ・ 風の湯 河内長野店(河内長野市)
- ・ 犬鳴山温泉センター(泉佐野市)
- ・ 太子温泉(太子町)

《奈良県》

- ・ 曾爾高原 お亀の湯(曾爾村)

☆ ゆららの湯 押熊店(奈良市)

☆ ゆららの湯 奈良店(同)

- ・ 極楽湯 奈良店(同)
- ・ 奈良健康ランド(天理市)
- ・ 大宇陀温泉あきののゆ(大宇陀町)
- ・ やわらぎの郷(橿原市)
- ・ 高田温泉さくら荘(大和高田市)
- ・ かもきみの湯(御所市)
- ・ 虹の湯 西大和店(上牧町)
- ・ リバーサイドホテル金剛乃湯(五条市)
- ・ 入之波湯 山鳩湯(川上村)

《和歌山県》

- ・ ユーバス和歌山店(和歌山市)

- ・ 和歌の浦 萬波(同)

- ・ 花山温泉(同)

- ・ 野半の里 蔵乃湯 老鶴館(かつらぎ町)

- ・ 龍神温泉元湯(田辺市)

- ・ わたらせ温泉(同)

- ・ リヴァージュ・スパひきがわ(日置川町)

- ・ 白浜温泉 長生の湯(白浜町)

温泉制覇68ヶ所

ついにやった、温泉大好き丸山一家が大記録



もっともお世話になったのが、ここ「箕輪の里温泉」だ。丸山自宅からマイカーで5分のところにある。軽食コーナーもあって、近所のおばちゃんを作る煮物などがおいしい。お湯は、肌に優しいアルカリ性単純泉。

んびりと過ごすことにより、明日への活力を養っているのがあります。

ところで、「3年で68ヶ所」は関西に限定した数字です。丸山一家は、夏休みには九州や山陰の温泉巡りをするので、関西以外のカウントすれば、もっと多くの温泉を訪れています。まあ、それがどうした、といった類(たぐい)の話ですが。

《兵庫県》

- ・ げんきの湯(神戸市長田区)
- ・ 鳴尾浜温泉 熊野の郷(西宮市)
- ・ 極楽湯 尼崎店(尼崎市)
- ・ 吉川温泉よかたん(吉川町)
- ・ こんだ薬師温泉ぬくもりの郷(篠山市)
- ・ とがやま温泉 天女の湯(養父市)

《三重県》

- ・ 島ヶ原温泉 やぶつちや(伊賀市)
- ・ 野天もくもくの湯(同)
- ・ 大山田温泉さるびの(同)
- ・ 美杉リゾート(美杉村)
- ・ ユーユー・カイカン(四日市市)

《京都府》

- ・ 仁左衛門の湯(京都市西京区)
- ・ わかさぎ温泉笠置いこいの館(笠置町)
- ・ スプリングひよし(日吉町)
- ・ 丹後温泉(京丹後市) 05/12/25 現在

3年間、関西で

それがどうした、と自分でも思うが、なんだかんだといつても、やはり、温泉大好き一家ならではの記録だと思います。この記録

大阪丸山一家は3年前に当地に来て以来、週末には必ずと言っていいほど日帰り温泉に出かけたのであった。その結果、これまでに訪れた温泉はなんと68ヶ所にのぼることがわかった。これはすごい。われながらすごい。継続は力なり。訪れた温泉を一覧表にまとめたのが、このページ左側の、でっかい表である。なかでも☆印のついているのは、会員になって何回も通ったところである。

は、破ろうと思う人はいないと思いますが、めつたに破られないかも知れません。

下の写真は、岸和田市の「クアオルトリバティ泉州」という健康ランドで、のんびりしている丸山夫妻の姿です。こうしての



「住道中学校の先生方はとても熱心で、一生懸命に指導していただきまして、本当にありがとうございます。お好み焼きや牛スジうどんのおいしい店も教えていただき、丸山一家3人で早速いきました」(丸山兼也)

住道中学校校歌

一、とことわに いのち生きよと
飯森嶺(む)は われらを招く
見よ見よ 行く手ははるか
かたみに人を うやまいて
愛のともしび うがさばや
たたえ われらの楽しき学苑

二、
河内野の 稲田わたりて
さや風は われらをめぐる
見よ見よ 行く手ははるか
知性の眼(まなこ) ひらくべく
時を惜しみて 励まばや
たたえ われらの楽しき学苑

創業元禄年間、東美濃の地酒 伊藤勝介くんが一生懸命にやっているぞ

強烈にうまい酒、さあ、みんなで買おう

若葉株式会社



「きよつうの一言」

新しい朝が来た

希望の朝だ

喜びに胸を開け

大空あおげ

この香る風に鍛えよ

それ、1, 2, 3

(ラジオ体操)

あげおまるやましんぶん

上尾丸山新聞

〒362-0014

埼玉県上尾市本町 4-7-15-712

maruyamafamiglie@yahoo.co.jp

TEL&FAX

048-772-5085

代表人

丸山 兼也

謹賀新年

上尾の夜明け



あけましておめでとうございます。
上尾丸山一家より、謹んで新年のお祝
いを申し上げます。

写真は、丸山一家のマンションのベ
ランダからみえる上尾の日の出の輝
きです。埼玉県の春日部市の方向か
ら、力強い朝日が、ぐんぐんと音を立
てて昇ってきます。

上尾は日本有数の「晴れ地域」とい

今年も頑張るぞ！

われています。というか、
そんな気がします。
関東はもとともよく晴
れるところですが、その
なかでも上尾はよく晴れ
るのです。それは、関東
北部の山脈から張り出し
てくる雨の前線はここま
で届かず、一方、太平洋
に発生する前線もここま
では北上しにくいからで
す。上尾はいいところ。

上尾丸山「今年もよろしく」

みなさま、こんにちは。いかがお
過ごしでしょうか。当方、埼玉県上
尾市に住んでいる丸山一家(写真、
左から優香、伊津子、兼也)は、み
んな元気に暮らしております。とい



日本人はお米を食べよう。新潟県十日町市旧松之山
町の棚田で写真を撮りました(二〇〇六年秋)

上尾市

あなたに

あげんきを

おくるまち

埼玉県上尾市。丸山夫妻はも
ともが新潟と松山の出身なの
で、本来は何の関係もない土地
なのですが、しかし「住めば都
とはよく言ったものです。本当
に暮らしやすいところです。

当に都会。日々の暮らしには何の
不便もありません。また高速道路
の入り口となる「東松山(関越道)
や、岩槻」「久喜(東北道)のI
Cもすぐなので、群馬や長野や、
新潟や会津若松へも近く、観光も
日帰りであちこち行けます。

うわけで、昨年の「大阪丸山新聞」
から変わって、今年は「上尾丸山
新聞」をつくってみることにしま
した。

仕事をします。インターネット
経由の仕事なので、大阪にいろ
うが上尾にいろが、全く関係なく
どこにいても仕事ができます。
ただし、給料は安く、仕事はいつ
たか不定期。ときどき「うう
む」と考えてしまうこともあります
が、まあ、元気にやっています。
長女の優香さんは、さいたま市
にある「浦和学院高校」の1年生

をしています。朝6時45分
に家を出て上尾駅まで歩
きます。そしてJR高崎線で大
宮に行き、そこからバスで
す。ちょうど良い運動量とい
えるでしょう。



長野・美ヶ原で(十月中旬)

ネットはすごい

丸山兼也さんは、インターネット
日記を書いています。よろしかったら
一緒にやいませんか。

というのは「NIKEI NET」
(http://www.nikei.co.jp)のなかに
「日経 WagaMagu」というページがあ
ります。この会員になると自分の日記ページを
作ることができるのです。丸山兼也さ

んは、この仕組みを使って日
記を書いています。この日記
は、見た人には見てもらえ
ます。日記に書いたことに対
し、友人からコメントを書き
込んでもらったり、また丸山
兼也さんがほかの人の日記
にコメントを書き込んだり
しながら、かつすけ君や小川
君なんかと情報交換をして
います。会員になりたい人
一報ください。

酒は若葉 日本一うまい 東美濃の酒

知っている人は知っ
ているが、知らない人
は知らない。だからこ
そ「知る人ぞ知る」と
いう。

本当に「知っている
人は知っている」とい
うすばらしい地酒を、
実は、私は知っている。
その名は「若葉」だ。
わが上尾と、若葉の
蔵がある岐阜県の瑞浪
市は、中山道(なかせ
んどう)で一直線に結
ばれている。さらに、
若葉の杜氏は、私の出
身地である越後からや
ってくる。もう、これ
だけでも、よい酒がで
きるに決まっている。
そして、決め手とな
るのは、上尾の丸山と、
若葉の伊藤勝介くん
が、友人であるという
点だ。酒の味は、これ
で一気には百倍か千倍ほ
ど、うまくなるのだ。

マンションなら

「レック上尾」

眺望抜群 交通至便、環境良好、
価格低廉。東西南北全面開放。



上の写真が「レック上尾」
だ。8階建てで、丸山一家
は7階に住んでいるのだ。

ぞろ目を制覇

車のナンバー

ついにやった、丸山一家が大記録 大阪時代から撮り貯め

なぜか車のナンバーの「ぞろ目」が気になり、街で見かけるたびに写真を撮りました。格段の意味はありませんが、丸山一家的には結構、盛り上がるのでした。買い物などでマイカーで走っているときに、「あつ、8888だつ」なんてのを見つけると、心が弾み、ついつい写真を撮ってしまうのでした。

それがどうした

とはいえ、ぞろ目ナンバーを集めたとはいえ、結局は「それがどうした」という話ではありません。では、どうして、そんなことをするのか。実は、丸山兼也さんは学生のころ、「カップラーメンのふた」を集めていたことがあります。食べ

るたびに、ふたのコレクションが増えていく。それは、とてもうれしいことなのでした。かつて、田中角栄先生が、白いベンツに乗っていたのを見たことがあります。そのナンバーは「1111」でした。要するに、とくに意味はないのですが、ぞろ目が好き!



大阪にいたとき、不思議な信号機を見た。なぜ、こんなに背丈が低いのか。この信号機がある場所は、大阪府松原市の、国道170号のすぐそば。丸山一家が「松原温泉」に行くときの通り道なのであった。



その昔、目白の田中さんは「1111」のベンツに乗っていたものでした。しかし、写真の「1111」は、いずれもベンツではなかったと記憶しております。



「4444」は、なかなか探すのが難しい。ちなみに丸山兼也氏の誕生日は「4月4日」なのだ。「4444」に親近感!!



意外に見かけないのが「6666」。なぜだろう? 写真の奈良ナンバーは、貴重なシャッターチャンスといえるでしょう。



「8888」。結構ある。



プライバシーに配慮し、ナンバーの一部を消しました

メモ欄

どこでも行くぞ 丸山一家の軽ワゴン

走れ!
バモス

丸山一家の愛車はホンダの軽ワゴンの「バモス」。軽とはいえ、ターボがついているので、力持ちで、よく走るのですわ。このバモスはきわめて安全。なぜかという、全国各地の神社のお守りが張ってあるからです!! 写真。どんな神社かというと、奈良の「春日大社」や「橿原神宮」、京都・天

橋立の「文殊堂」、熊野古道の「本宮」「熊野大社」、もちろん、さいたまの大宮にある武蔵一ノ宮「氷川神社」や、新潟の「白山神社」もあるし、なんといっても、日本最強の「出雲大社」もわが愛車を守ってくれています。安全運転に気をつけながら、週末のお買い物や、連休のちよつとした遠出に活躍するバモスです。



写真上は、バモスの車体後部を撮影する丸山兼也さん。お守りが反射している。写真左は、バモスが行ったこんな山奥、の事例。

【若葉株式会社】

509-6101 岐阜県瑞浪市土岐町 7270-1

電話 0572-68-3168/FAX 0572-68-4639

創業300年余。われらが伊藤勝介くんが頑張っています。さあ、買うたろう、日本一の美酒!

無料広告

ageo maruyama shimbun

上尾丸山新聞

発行所 丸山新聞社 maruyamafamiglie@yahoo.co.jp

◇上尾本社 埼玉県上尾市本町

◇大阪本社 大阪府大東市浜町

◇ミラノ本社 Via Inganni 76 Milano ITALIA

「退院しました！」

上尾市の隣、伊奈町にある「埼玉県立がんセンター」に入院していた丸山兼也氏(51)が12月3日(土)の午後、約1カ月におよぶ入院生活を終えて退院した。

◆まず「消化器内科」に入院

上尾丸山一家の長である丸山氏は、今年の秋に体調不良を感じて病院に行き、いろいろと検査してもらった結果、大腸がんが発見された。また、肝臓に転移していることも分かった。このため、がんの部位を手術して切り捨てる外科療法ではなく、全身のがん細胞を抗がん剤でやっつける化学療法作戦を採用することになり、11月7日(月)、県立がんセンターに入院したのである。

当初の計画では、9日ごろから「足掛け3日間・延べ48時間」の抗がん剤の点滴投与を実施し、様子をみて、早ければ翌週14日(月)にも退院という日程が想定された。

しかし、ここで新たな問題があることが発覚。このため、抗がん剤投与の治療を開始する前に、大腸の一部に外科的な処置が必要ということになり、



入院中は規則正しい生活だった(病棟の廊下にて)13日(日)に同じ病院内の「消化器外科」病棟に引き越し、「ストーマ」造設の手術実施を待つことになった。

◆11月17日(木)に手術、体力回復を待つ

手術を終えた後、しばらくは「禁食」ということで食事ができず、点滴で栄養を摂る日々だったが、やがて「重湯」→「5分粥」→「全粥」→「白米」と食事ができるようになって体力が回復。11月30日(水)に再び「消化器内科」へ戻り、翌12月1日(木)午後から、入院当初に計画された「足掛け3日間・延べ48時間」の抗がん剤投与がようやく実施された。そして3日間の点滴を終えた12月3日(土)の午後、昨夜来の雨が上がり、青空が見えてくるなか、



家族ばんざい!!(がんセンター屋上に)

病院を後にしたのである。

「オストメイト」の仲間入り

手術で作ったストーマ(人工肛門)で 新たな生活スタートだ！

今回11月17日の手術で、丸山氏は「ストーマ」つまり「人工肛門」を作ってもらった。

というのは、丸山氏の大腸がんは「大腸の

隣の膀胱にも浸潤」という悪辣ぶりを見せ、大腸と膀胱を結び小さなトンネルまで作ってしまった模様だ。これが悪化すると、ばい菌の巣窟であるうんちが膀胱に流入することになりかねず、そうなると膀胱は炎症を起こし、抗がん剤治療で免疫力が低下したカラダ全体に炎症が広がる恐れもある。そうした事態を回避するため、がん腫瘍がある部位の手前で「大腸バイパス」を作ってうんちを外へ出す。それが、今回のストーマ造設手術を実施した狙いなのだ。

お隣の左隣にある、ウメボシのような色・形をした肉の盛り上がり。それが丸山氏のストーマだ。排便の意思とは全く関係なく、ここからプリプリとうんちが出てくる様子を見ると、何とも愛おしいが、実生活ではそうも言えない。完全密封された「ストーマ袋」という

専用の器具を「ウメボシ」に被せるように装着。たまっとうんちをトイレに捨てながら、袋自体も2〜3日ごとに新しいものに交換していく。

ストーマ保有者を「オストメイト」と呼び、公益社団法人の「日本オストミー協会」が公共トイレのバリアフリー化

<http://www.ba-net.org/contents/wc/index.htm>などを促進しているようだ。丸山氏もきょうから「オストメイト」の一員に。日々の暮らしがかなり変化しそうだ。



3枚を並べた写真のうち、左は「のっぺ」である。新潟の母が作ってくれて、タッパに入れて、クール宅急便で送ってくれた。あ〜、美味い！写真中「村上のしよーびき(塩引鮭)」。新潟の親戚が送ってくれたもので、これがまた何とも美味い！写真右は上尾の自宅ベランダから見る、日の出直前の地平線。再びこの光景が見えるのは、自分へのご褒美！



<がん検診のススメ> がんセンターの先生の話によると、丸山氏の大腸がんは5年ほどの時間をかけてここまで成長したらしい。う〜む、この間、職場の健康診断は毎年欠かさず受けてきたのだが、気が付かなかった。健康診断だけでなく、人間ドックに行っていたらもっと早期の発見ができたかも、と思うと残念。。。。よ〜し、コソコソと治療を続けるぞ！

今後は通院＆投薬で

「大腸がん」をやっつける！

退院したとはいえ、丸山氏は「戦いはここから本番だ！」と気を引き締めている。というのは、今後は2週間に1回のペースで通院し、入院はせずに「足掛け3日間・延べ48時間」の点滴投与を続けることになる。治療は長丁場なのだ。

これこれまでの経緯

<9月下旬>

遅い夏休みを取って、かみさんと2人、愛車バモスにて1週間ほどの北海道アウトドア旅行。その間、極めて体調が不良で、やたらと便意を催し、便には血が混じる。

<10月>

これはおかしい、これを機に、お腹の全体を徹底的に検査してもらおうと一念発起し、「上尾中央総合病院」にて各種検査を受ける。胃カメラ、大腸内視鏡、大腸バリウム、腹部胸部CT……。その結果、大腸のS状結腸部のがん発見。ここまでは、ある程度の覚悟をしていたが、予想もなかったことに、さらに、肝臓への転移が発見された。

<11月>

「上尾中央総合病院」からの紹介状を持って「埼玉県立がんセンター」へ転院。1日から各種検査を受け、7日に入院。全身抗がん剤投与の治療を受けて退院し、その後は通院・投薬という治療計画を立ててもらったが、途中で新たな問題が発覚。その問題を解決すべく、外科にて手術を。では何の手術だったのか？それが「ストーマ」である。

入院時に実施した48時間の抗がん剤投与。その時間配分的な内訳をみると、(1)まずは2時間、通常の点滴で抗がん剤を投与。(2)その後、持ち運びができる点滴容器に入れた別の抗がん剤を46時間掛けて投与——だった。

今後の通院＆投薬では、最初の(1)の治療を病院内のデイクア室で対応した後、(2)の「持ち運びができる容器」による点滴をセッとしたところで病院での治療は終了となり、あとは自宅で休んだり、街で買い物をしたりしながら、46時間掛けて、抗がん剤を投与することになる。

この46時間の点滴に使う「持ち運びができる容器」=写真下=は正式名を「インフューザーポンプ」というらしい。容器内にある「ゴム風船」に抗がん剤を入れてあり、風船から押し出す力を、ホースの途中にあるセンサーで調節しながら、抗がん剤を体内に送る仕組みのようなのだ。

外出時でもペットボトルのように携帯できる点滴の容器



退院、快癒、祝賀、宴会……めでたい時にめでたい人に
創業元祿年間 蔵元 東美濃の地酒「若葉」なのだ！

<http://www.wakaba-sake.com/>

広告

退院祝いに あれやらこれやら

〜 やっぱ 自宅がええな〜

送ってくれたもので、これがまた何とも美味い！写真右は上尾の自宅ベランダから見る、日の出直前の地平線。再びこの光景が見えるのは、自分へのご褒美！

Ageo MARUYAMA Shimbun

上尾丸山新聞

発行所 丸山新聞社

◇上尾本社 埼玉県上尾市本町

◇大阪本社 大阪府大阪市浜町

◇ミラノ支局 Corso Italia 6, Milano ITALIA

発行人: 丸山兼也

いとお酒です

剣を志す男 成尾
東美濃の地酒

岐阜県瑞穂市 若葉株式会社

丸山は
元気!

残暑お見舞い申し上げます

8月7日が「立秋」だったとはいえ、まだまだ暑い夏が続いている。皆さん、体調は如何でしょうか。こちら上尾の丸山は「隔週金曜日」が通院して抗がん剤を点滴してもらう日なので、8月17日(金)に埼玉県立がんセンターに行き、朝8時の血液検査、9時の診察、10時~14時半の点滴を経て、会計を終えたのが15時。その後、とても腹が減って、この新聞2面左上にあるハンバーグ屋さんへ行ったのであった。

ところで、自分の「がん太郎」との長期戦に関して、数多くの方々から激励のお言葉をいただき、本当にありがとうございます。で、いまはどんな様子なのかというご心配もいただいておりますので、久しぶりに『丸山新聞』を発行することになりました。

基本的に元気です。無理はできませんが、会社にも行っているし、週末にはたまに1泊で温泉に行ったりもしています。ただし酒はダメだし、出先で突然、ドッと疲れがカラダに回って重い倦怠感に襲われるなど、いつ、どこでちょっと体調を崩すのか、読みきれない状況ではあります。

そんなわけで、いわゆる「飲み会」やなにかのイベントなどにはなかなか参加するのが難しいです。加えて、お腹の「ストマ(人工肛門)」の袋の取替えも、便の排泄がまったく自分の意思と関係なく機能しているため、いろいろと面倒なことが多いです。

さて写真ですが、大学後輩から載った岡山の白桃を食べる写真があります。カラダに装着した携帯型点滴ポンプを手にかけている写真もあります。温泉の貸切風呂、駅の立ち食いそば、エレベーター内でのセルフ写真などもあります。



抗がん剤治療、第2ステップへ

3つの抗がん剤、種類を入れ替え / 新たに分子標的薬も投入

この病院、食事が美味しいと思う

埼玉県立がんセンター
埼玉県北足立郡伊奈町小室818

昨年の12月から2週間に1度のペースで通院して点滴投与してもらってきた抗がん剤治療だが、このほど7月12日から、投与する抗がん剤の一部を入れ替えた。

右の図表にある通り、「オキサリプラチン」が外れた。オキサリの副作用である足のシビレが重く、歩くことがしんどくなっていたため、主治医の先生に判断していただいた。

ここまでの治療は…

☆「FORFOX」療法
(・5FU)
(・レボホリナート)
(・オキサリプラチン)

現在の治療は…

☆「FOLFIRI」療法
(・5FU)
(・レボホリナート)
(・カンプト)
☆分子標的薬「ベクティビックス」

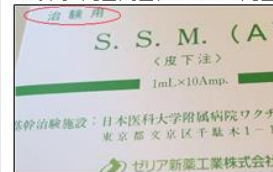
病院の皆さん、職場の皆さん、学生時代の仲間たち、そして家族…

夏の猛暑を乗り越えました
ありがとうございます!

♪人は皆、1人では生きてゆけないものだから……。まったくもって、この歌詞の通りだと思います。足のシビレや突然の熱発など様々な困難がありましたが、なんとか一番暑い夏を乗り越えることができたと感じています。

ところで、治療のサブとして選んだのが「丸山ワクチン(S.S.M.)」ですが、

『今こそ丸山ワクチンを!』(KKベストセラーズ)によると、2014年にも、まず子宮頸がんの治療用として認可されそうとのこと。同じ丸山同士、がんばれ丸山ワクチン。



◇がんばれ分子標的薬

抗がん剤はがん細胞だけでなく普通の細胞まで攻撃してしまうのだが、がん細胞の特定のタンパク質などに分子レベルでピンポイントに働きかけ、がん細胞だけやっつけるのが分子標的薬だ。

このお盆過ぎまでに、既に3回の

投与してもらったが、うん、効いているぞという実感がある。この調子で、がん太郎をやっつけて行きたいと思う。ただ、副作用としてお肌に変調が始めた。顔のニキびやら、カラダのブツブツやらの「皮疹(ひしん)」というやつだ。ぬり薬をいっぱいもらったので、がんばるぞ。



通院の後、ときどき食べたいくなる



緩慢ハンバーグ

毎日を大切に生きよう

日々是好日

上尾駅東口再開発
28階建ての高層マンション
伸び行く街、上尾

美味しいもん食って免疫力を高める

抗がん剤の副作用で倦怠感が強まると、そのせいで食欲が落ち、食べるものを食べないと免疫力が低下してロクなことはない——。こうした悪循環に陥らないためにも、美味しくてカラダに良い栄養のあるものを食べるのは大事なことだ。

そんなわけで、ホルモンが大好きだ。週末にときどき、家族3人そろって食べに行くのがすごく楽しみだ。

以前は家のすぐ近くの国道17号沿いに「情熱ホルモン」という本社大阪のチェーン店があって重宝していたのだが、最近、突然に閉店してしまった。

そこで新たに開拓したのが駅西口の「ホルモンちゃん」だ。やっぱりホルモンを食べると元気が出る！

我が家では回転すしも大好きだ。上尾には「くら」「かっぱ」「かいおう」がってんなど様々なチェーン店が覇を競っていて、うれしい。

さて、こんどはいつ行こうかなと。



それでも、しんどいときもある。そんなときは焦らない

「抗がん剤」といえば「副作用」という連想ゲームが思い浮かぶように、両者は切っても切れない関係にあるようだ。吐き気・嘔吐、手足のシビレ、白血球や赤血球がうまく作れなくなる骨髄抑制、貧血、皮膚障害、そして脱毛……。

そんななかで、カラダ全体がドッと疲れる倦怠感・疲労感や、突然にやってくる39度近い高熱の発生も忘れてはならない。

先日こんなことがあった。朝からなんとなく熱っぽかったカラダを押した。会社に出勤してみたが、昼過ぎにならぬうちに、早退したものの、大手町から上野まで急遽にやってきた高熱に襲われ、社内の診療所へ。ボッケに携行し、分への小さな小袋薬として、750円をフンパツして上野→上尾はグリーン車を利用。ふう～、ぐったりの倦怠感。



ドバツと汗が出て体温が下がり、ふ～という感じでなんとか平熱近くまで戻した。

早退したものの、大手町から上野まで急遽にやってきた高熱に襲われ、社内の診療所へ。ボッケに携行し、分への小さな小袋薬として、750円をフンパツして上野→上尾はグリーン車を利用。ふう～、ぐったりの倦怠感。

新病院を建設中

2013年12月オープン予定
いまの病院の北側に



↑新病院の模型

【詳細は埼玉県HPから】

トップページ＞組織＞がんセンター＞がんセンター新病院

埼玉県立がんセンター

いまの病院は5階建てだが、現在建設中の新病院は11階建てになるらしい。がんセンターは上尾の隣の伊奈町にあり、周囲には高い建物がないので、関東平野から北は浅間、赤城、日光の山々、東は筑波山、南は東京スカイツリー、西は富士山から多摩・秩父方面の山々が良く見えそうだ。すばらしい！

また、手術室を7から12室に増やしたり、PET-CTなどの高度医療機器も導入するそうだ。

春夏秋冬

毛沢東は抗日戦争の展開を3段階で予測した。まず攻め込まれるが、ある時点で押しどめる「防衛」の段階。次が、向き合う敵をジワジワと弱らせる「対峙」。そして最後が、弱った敵を追い落とす「反攻」だ。

この3段階の展開を、自分の「がん太郎との長期戦」にあてはめてみた。昨年秋に大腸S状結腸のがんと肝臓への転移が発見され、がん太郎に一方的に攻め込まれたが、ストマ(人工肛門)の造設と全身抗がん剤療法、FORFOXで攻勢を抑えて「防衛」の体制を確立。

そして今は、分子標的薬という新たな武器を使い、がん太郎をジワジワと弱らせる「対峙」の段階だ。では最後の「反攻」はいつ、どんな形か。まだ先だと思うが、弱ったがん太郎を手術によって追い落とすのが「反攻」か。手術までこぎ着け、「延命」ではなく「治癒」という勝利を目指すぞ。

空を眺め、大きな自然を感じる

わが上尾市は東京から約35キロ、熊谷からもほぼ35キロという位置にある。太平洋側を進む雨雲からは遠く、また、関東北部の山から湧く雨雲からも遠く、要するに晴れの日が多い。加えてわがマンションは8階建ての7階にあって周囲に高い建物はなく、ぐるっとほぼ360度の展望がOK。

さらにいえば、がん太郎との闘いを始めてからは残業やら飲み会もなく帰宅するようになったので、夕暮れ時の西の空もよく見ることが出来る。

日没前後の時間の西の空は、ときにこうしたスペクタクルを見せてくれる。西日を受けて輝く巨大な入道雲、沈んだ太陽からの光線が雲にさざぎられて、大きな空に影を作ったりスポットライトを作ったり。



日の出時刻の地平線

夕暮れ時の西もキレイだが、日の出直前、薄暮のころの東の空も面白い。右下の写真は恐ろしいような赤い色で染まった夜明け前の空だが、この日は昼過ぎに北海道の北の海域でM7.3のバカでかい地震があった。この、不気味な赤い朝焼け雲は、地震雲の一種だったのかも知れないなと思っている。



野良猫ちゃんかな？ がんばれよ！



野良ちゃんなのではなからうか。人間様には夏は冷房、冬は暖房があるけど、いつもアウトドア暮らしの野良ちゃんは大変だろうな。体調管理に気をつけて、がんばれよ。

あれ、こんなところに子ネコがいる——。先日、上尾駅の1番ホームの端々からネコちゃんがボコッと顔をだしていた。この場所でこんな光景を見たのは初めて。おそらく駅横の駐輪場のあたりで暮らしている

Ageo MARUYAMA Shimbun

上尾丸山新聞

発行所 丸山新聞社 maruyamafamily@yahoo.co.jp

◇上尾本社 埼玉県上尾市本町

◇大阪本社 大阪府大東市浜町

◇ミラノ支局 Corso Italia 6, Milano ITALIA

発行人: 丸山兼也

お正月、日本酒で乾杯!

創業元禄年間 蔵元
東美濃の地酒

岐阜県濃美市 若葉株式会社

あけまして おめでとうございます

2013年「招笑」の年に!

旧年中は多くの方々から激励のお言葉をいただき、本当にありがとうございました。おかげさまで、宿敵「がん太郎」との闘いは戦線を維持したまま大きく押し込まれることなく、逆に7月に「分子標的薬」を新たに手にしてからは、がん太郎の出鼻を叩いて攻勢に出という嬉しい局面もありました。

ただ、闘いが長引くにつれて次第に、体力を消耗する持久戦の様相も呈してきました。体力が低下するとどこからか伏兵のバイキンが現れ、いつもなら問題なく蹴散らすのですが、こちらの免疫力が低下しているのをいいことに発熱や炎症といった悪さを働いたりします。

今年は免疫力を高めてバイキンなどの感染を排除、がん太郎との闘いに専心します。従来にも増して「食」と「笑」で免疫パワーを強化するぞ! 応援のほど、よろしくお願いたします。



笑いも健康も招き寄せる大籠手 (JR上野駅構内11月20日)

打倒「がん太郎」の基本戦略

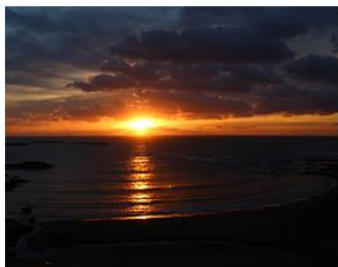
笑って勝つ
勝って笑う

2013年もがん太郎との闘いが続く。埼玉県立がんセンターに隔週金曜日に通院して抗がん剤のFOLFIRI療法と分子標的薬を点滴してもらった治療をスケジュール通りにこなすとともに、12月下旬から新たに始めた月1~2回ペースの免疫療法「BAK療法」を受けるため、大宮のクリニックにも通って、がん太郎をジワジワと追い詰めていくのだ。

◇笑顔で高める免疫力

こうした治療の効果を高める秘訣が「笑い」にあると思う。ショボれた顔をしていたのでは、効く薬も効かない。

房総沖から初日の出



2013年元旦。日の出時刻は午前7時41分前だった

2012年の大晦日は上尾の自宅ではなく、千葉県の南房総市白浜町にある「紀州鉄道 房総白浜ホテル」というところに泊って、年越しをしています。

ホテルの目の前は太平洋。野島崎もすぐ近く。ということで、2013年の初日の出は、東の空を赤く染めながら水平線から昇る太陽様です。キリッと冷え込んだ朝の空気を大きく吸って、拍手をバンバンと打ちながら、よしっ、今年もガンバルぞ!

参考: <http://www.kitetsu-hotel.jp/boso/>

隔週金曜日の通院治療。別途、BAK療法も開始

いつもガハハと笑っていれば、薬さんも嬉しくなると「ひとつ、がんばるべ」となるに違いない。笑う門には福来る。今年もガハハとよろしくお願いたします。

参考「BAK療法」

<http://kubou-mori.jp/>

【主】仙台のクリニックの提携先の大病で採血・点滴を受ける

家で鍋を食う

別になんということもないのだが、2012年も残すところあと1日という12月30日(日)の夕食は、家で鍋だった。豚、鶏、キャベツ、きのこ、にんじん、その他なんたんだんたを入れ、永



谷園の「煮込みラーメン」をぐつぐつ。お味は「コウモリ鶏塩ちゃんこ風」で、これ、なかなかの美味なり。こたつで家族3人で鍋。自分は写真に写りたくないという娘が撮ってくれた、かみさんととの2ショット。

「食」は力の源泉だ

もりもり食べて免疫力アップ!

がん太郎との闘いを続けていると、がん太郎が仕掛けてくる悪さの影響で、また抗がん剤の副作用の影響で、どうしても「食欲不振」になることがある。食欲が落ちるとカラダの免疫力が低下して、ちょっとしたバイキン野郎の侵入で発熱したりする。

それではイケナイ。日ごろから元気にもりもりと食べて体力を維持し、免疫力を高めて、がん太郎との闘いを優位に進めなくてはならない。

というわけで伊勢エビ2尾や刺身、釜飯、牛肉など、房総の美味しいものを大晦日にいただきました。



海の幸がいっぱい。2012年大晦日、ホテルの夕食

春夏秋冬

毎年どこで年越しをしていたかを振り返ると、たいがい年末年始休暇で旅行しており、ミラノ駐在の1996~2000年にはアテネ、イスタンブール、アンタルシアなどへ行った。また2000年の「大聖年」にはローマに滞在し、法王ヨハネ・パウロ2世がサンピエトロ寺院の「聖なる扉」を開けるのを待った。03~05年の大阪時代は、かみさんの実家、四国・松山をベースに四国各地を旅行。がん太郎との闘いを始めた2011年末は上尾で過したのだが、よっしゃ、今回は房総の旅だ!

会津・福島 広告特集 あいづ・ふくしま 会津だ! 福島だ! 新潟市立沼垂(ぬつり)小学校6年生のとき、修学旅行の行先は会津若松と五色沼でした。自分も奥羽越列藩同盟の越後人です。	▼これ、超よう! NHK大河ドラマ、1月6日(日)スタート	▼これ、読もう! 集英社文庫「会津」J8巻、光人社NF文庫「守城の人」	★ここ、行こう! 南会津「只見」あり! 広告の詳細は、メールに記したURLを参照ください!
---	---	---	--

Ageo MARUYAMA Shimbun

上尾丸山新聞

発行所 丸山新聞社 maruyamafamily@yahoo.co.jp

◇上尾本社 埼玉県上尾市本町4-7-15-712

◇大阪本社 大阪府大東市浜町

◇ミラノ支局 Corso Italia 6, Milano ITALIA

発行人: 丸山兼也

いし酒です

創業元禄年間 戒元
東美濃の地酒
純正無添加酒 若葉株式会社

がんとの戦い 一大転機

抗がん剤治療、主治医が撤収を宣告

「効く薬がもうありません」

でも負けないぞ 新たな武器は **免疫療法!** がん撃破へ戦いは続く

上尾市の隣、伊奈町にある埼玉県立がんセンターに通院して抗がん剤治療を続けてきた上尾丸山氏だが、様々な抗がん剤に対してがんは耐性ができて効かなくなり、主治医である「消化器内科」の先生から抗がん剤治療からの「撤収」を宣告された。消化器内科としては、やるべきことはもうない。次のステップとして丸山氏は「緩和ケア科」に転科、通院先も上尾中央総合病院に転院した。だが、丸山氏は既にこの日の到来を見越し、抗がん剤ではない「免疫療法」という武器を手に新たな戦線を構築していたのだ。

大腸S状結腸がんを原発巣にして、膀胱に浸潤し、肝臓やリンパ節へも多数転移しているのが分かったのが2011年10月。その時点で病状の進行度はもはや「ステージ4」だったので、がんを手術で除去することは無理と分かり、そこで採用したのが、全身をくまなく抗がん剤で爆撃してがんをやっつける「全身化学療法」だ。

これまでの抗がん剤治療の成果だと感じているのは、まず第一に、肺や胃など他への転移が見られなかったこと。もし抗がん剤治療をしていなかったら、がん太郎がカラダ全体に縦横無尽に暗躍し、短期間のうちに丸山氏の全身に、悪辣ながん太郎がはびこっていたことであろう。



抗がん剤治療の第二の成果だと思うのは、治療が入院ではなく隔週の通院で可能だったこと。これにより平日は会社に通勤ができるし、休日は愛車バモスで温泉旅行に出かけることもできた。

4月25日、埼玉県立がんセンターからの「紹介状(診療情報提供書)」を持参して上尾中央総合病院の緩和ケア科へ。この日が初診といえ、2011年に体調に異変を感じてまず訪れ、検査の結果、大腸がんを発見したのがこの病院であって、なんとく疲かしい気がしないでもない。当時の診療科は今も有効だ。

一方、抗がん剤はがん太郎だけでなく、普通に元気に生きている細胞も攻撃してしまうので、治療のたびにカラダの免疫力が低下していくという副作用をもたらした。こうした副作用の一環で、免疫力の下がったカラダにバイキンが感染して

高熱を発してへろへろになり、抗生剤の点滴でバイキンをやっつけるため、2週間程度の入院を何度も余儀なくされたのであった。

☆☆がんと戦う☆☆
免疫
JAPAN!

体内に入ってくる悪い物質と戦って排除するのが免疫細胞の仕事。免疫療法は、がんと戦う免疫細胞をパワーアップする。

久留米大学医療センター「がんペプチドワクチン」

がん太郎のみ集中攻撃

仙台 きぼうの杜クリニック「BAK療法」

キラー細胞100億個に培養



採血した血液のなかから、がん細胞と戦うキラー細胞を取り出し、2週間かけて培養して100億個ほどに増やし、同時に活性化パワを注入。これを点滴で

がん太郎はそもそも自分自身の細胞ががんに変化したものなので、免疫細胞はがん太郎を標的に見ながら「これは身内? それともがん太郎?」と悩む。だが、がん太郎は「抗体」というのを持ち、これを識別すれば即、攻撃可能だ。抗体と同じ構造を人工的に合成したペプチドを注射し、がん太郎と戦う免疫細胞のキラー細胞に学習させ、見敵必滅で攻撃するのだ。

◇がんペプチドワクチン

http://www.med.kurume-u.ac.jp/med/immun/F/

上尾の自宅を午前9時ころ出て、羽田空港へ福岡空港と飛び、高速バスで久留米に着く午後

西鉄久留米駅からバスで15分ほど

4時すぎ。前泊し、翌日の午前中に注射して上尾に帰る

のだが、なんといつも

久留米は物価が安くて

食べ物が美味しい。ど

んこラーメン、焼き鳥、

どん、チャンポンなど、

パッチリだ! ただ体調

が悪くて熱があるとき

など、食欲がなくて食

べられずに悔しい思いをした。

【おさらい】これまでの経緯

2011年

【3月】

東日本大震災発生

【9月】

夏休みの北海道アウトドア旅行で体調に異変を感じ、旅行後すぐに検査してもらうと決意

【10月】

上尾中央総合病院で内視鏡検査。肛門から20センチほどのS状結腸部に相当に進行した大腸がん発見。紹介状を書いてもらい、埼玉県立がんセンターへ

【11月】

さらに大腸がんの膀胱浸潤や、肝臓への転移、大動脈横や右鎖骨下のリンパ節への転移判明。手術は無理と判断、隔週で通院して抗がん剤の点滴を受ける「全身化学療法」に。同時に、ウンチがS状結腸に行く前に外に出すためのパイパス「人工肛門(ストマ)」を、手術で造設

【12月】

全身化学療法を開始。3種類の抗がん剤(オキサリプラチン、レボリナート、5FU)を組み合わせて投与する「FOLFOLFOX(フォルフォクス)療法」を採用

2012年

抗がん剤治療が順調に進み、がんの拡大や新たな転移なし。ただ抗がん剤が次第に体内に蓄積し、副作用も表面化。なかでも「オキサリプラチン」の副作用による足のシビレが重なり、普通に街を歩いたり地下鉄階段の昇降が苦痛に

【7月】

抗がん剤治療の影響で免疫力が低下し、弱くなったカラダにバイキンが侵入して感染。体内の炎症値が急上昇し発熱。入院して抗生剤を昼夜を問わずに点滴投与

これまでの抗がん剤「FOLFOLFOX療法」の効果が薄れてきたため、従来の3種類の抗がん剤のうちオキサリプラチンを外して新たに「カンパ」を入れる「FOLFIRI(フォルフィリ)療法」に変更。このFOLFIRIに加え、分子標的薬の「ベクシズクス」の点滴投与も開始。かなりの効果を実感し、実際にCT検査の画像を見て、転移先の肝臓のがんが小さくなっているのが読み取れた。

【10月】

再び免疫力が低下し、バイキンの感染により発熱。入院して抗生剤を点滴。また、腎臓機能の悪化を受けて、左腎臓からオシッコを直接外部に出す「腎ろう」を簡易手術により造設

【11月】

転移先の肝臓やリンパや、原発巣の大腸のがんを手術で取ってしまう選択はもう本当にないのか。セカドオピニオンを求めて静岡県がんセンターへ行って話を聞いたが、やはり無理であることが分かった。

【12月】

仙台の「きぼうの杜クリニック」へ行き、BAK療法について話を聞く。やってみようとする

2013年

【2月】

久留米大学医療センターに毎週通院し、がんペプチドワクチンの注射を受ける。「8回で1クール」となる第1クルールの注射のうち4回まで進む

【4月】

免疫力低下に伴う感染症で3月下旬から入院。この時のCT検査で「抗がん剤効果なし」との判断

さいたま新都心駅から

タクシーで5分程度

の杜クリニックが開発した「BAK療法」の基本形だ。

ただ、ずる賢いがん太郎は成長するとともに自らの存在を上尾に隠す。BAK療法は、そんな隠れたがん太郎をやっつけるのだ。

◇BAK療法→ <http://kibo-u-mori.jp/>

実際の採血・点滴は仙台まで行かなくても、提携先の大宮のクリニックでOKだ。従来は月1回に満たないペースで昨年12月以来、ゆるゆるとやってきたが、ペースを上げる考えた。

西鉄久留米駅からバスで15分ほど

4時すぎ。前泊し、翌日の午前中に注射して上尾に帰る

のだが、なんといつも

久留米は物価が安くて

食べ物が美味しい。ど

んこラーメン、焼き鳥、

どん、チャンポンなど、

パッチリだ! ただ体調

が悪くて熱があるとき

など、食欲がなくて食

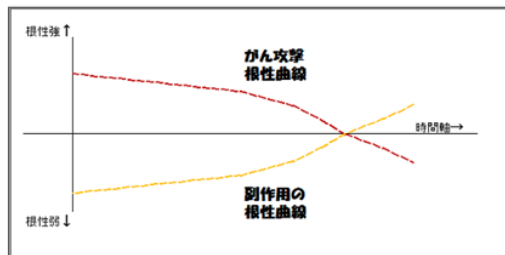
べられずに悔しい思いをした。

ありがとう！ 抗がん剤治療

未練はあるが終了だ 丸山は 新たな治療で勝利をめざす

がん発見以来、強力な治療法として丸山氏を支えてくれたのが、抗がん剤投与による全身化学療法だ。残念ながら、今回はこれで終了ということになったが、その功績は大大大！ 感謝も大大大！

抗がん剤治療の難しさ ～根性曲線分析～



抗がん剤の持つ副作用が顕在化して日々の「QOL(生活の質)」に影を落とし始めた。副作用の具体的な症例は様々だが、根源的に問題なのは「免疫力の低下」なのではないかと思う。普通に暮らす細胞まで攻撃してしまうため、カラダ全体に疲れが出て食欲も減退し、そこから体力が次第次第に低下。そのスキを突いて丸山の体内で悪事を働こうと画策するバイキンの侵入を招き、体内の炎症と発熱をもたらして入院を余儀なくされた。こうしたバイキンは抗生物質の点滴治療で戦ったのだが、これがまた食欲減退と体力低下に拍車をかけるという負の連鎖。抗がん剤治療どころでない。そしてついに、がん太郎を必ずややつけるんだという「攻撃の根性曲線」が時間とともに下降線をたどり、シワシワと力を蓄えて上昇線をたどってきた「副作用の根性曲線」と交差する「バッドクロス」の局面を迎えた。

丸山自身としては、このクロスが訪れるのはもうちょい先ではないかと勝手に想像していたものの、まあそれはそれで仕方がない。

実は、使っていない抗がん剤がまだ1つあるのだが、県立がんセンターの主治医の先生の考えに従い、これは断念した。というのも、この抗がん剤は消化器の内壁からの出血をもたらすという重い副作用の事例が報告されており、大腸がんの自分にとっては、あの「イレッサ」のような事態に陥らないとも限らないからだ。

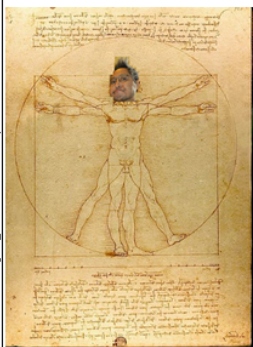
抗がん剤治療よ、ここまでありがとう！ 丸山は前を向いて進み、今後は免疫療法を武器にしてがん太郎の戦いを進めていきます！！

左下のグラフは抗がん剤による治療を概念的に振り返ってみたものだ。治療開始のころ、抗がん剤はがん太郎をガンガンと攻撃し、丸山氏の体内で成長しようと奮動(しんどう)する出鼻を見事に打ち砕いてくれた。かつ、抗がん剤に内在する副作用はまだ表面化せず、比較的良い体調を保ったまま治療を進めることができた。

しかし、時間の経過とともに、がん太郎には抗がん剤への耐性ができていき、一方で

「丸山さん、カラダ大丈夫なんですか！？」
「うん、大丈夫。さて、なんでも聞いてくださいな」

Q&A: 今こんな感じです



がん以外に悪いところなし

—— 1ページ目の写真に車いすが写っていますが、歩けなくなっちゃった？

「いえいえおかけます。ただ、歩のくがとでもシンドイときがあります。4月中旬に久留米に行った帰りに、福岡空港と羽田空港で空港内を移動するために使ってもらったのが最初です。この歩行困難の原因ですが、1つは、抗がん剤として使った「オキサリプラチン」の副作用が残り、足先がマヒするのです(1ページ目「おさらい」参照)。もう1つは、がん太郎との戦いを続けるなかで次第に全身の筋肉が弱ってしまったこと。そしてもう1つが、抗がん剤や抗生剤の影響で食欲が落ち込んで、目先の体力が落ちてしまっているからです」

—— 食事に制限はないのですか？

「なにを食べても問題ありません。がん発見・入院の当初に手術で作ってもらったストーマ(人工肛門)があり、そのウンチ袋がおへその横にあって、バイキンを持つウンチが大腸がんの原発巣や、浸潤先の膀胱に流入しないように堰き止めるためです。それより問題なのは、日々の食欲そのものをいかにして高めるかということです。カラダに良いものをいっぱい食べて、体力と免疫力を高め、がん太郎攻撃の任に当たるキラー細胞などの免疫細胞たちに、パワーを供給するぞ」



福岡空港にて

—— 「腎ろう」といって、腎臓から直接に管を出して、オシッコを袋にためてますが、「丸山の病名は「S状結腸がん、膀胱浸潤、多発肝・リンパ節転移、水腎症」。

この水腎症に対応して昨年10月、左の腎臓に腎瘻(ろう)を作りました。

◇水腎症！

<http://health.go.jp/medical/search/10J11400.html>

水腎症は、要するに膀胱浸潤したがん太郎の悪事の1つなのですがそれよりも困っているのは、膀胱ががん太郎に圧迫されたため、右の腎臓から流れ込むオシッコを溜める膀胱内のスペースが極端に狭くなっていること。

当初は駅や街中などで尿意を感じるとトイレを探して走ったのですが、通勤中に耐え切れずに公衆トイレで下着を換えたことも何度か。現在は、尿意を感じるとはやく全く手に負えず、ウツときてビッの即発状態。オムツをダブルにして着用し、タレ流しで吸収します。実は膀胱の蓄尿機能が低下しているため、オシッコは膀胱にはほとんど溜まらず、浸潤で大腸との間にできた「トンネル」を伝わって、オシッコの大部分がお尻から出てきます。そこに大腸の粘液などが混じり量も増えるので、日々のオムツ消費枚数は相当なものです」

—— ご自宅にお見舞いに行ってもいいですか？

「申し訳ない、それはできればごカンベンを。なにかと疲れちゃいますから。

また、病見舞いということで、例えば『コシヒカリ1俵』とか『全国日本酒100本』とかいったすげえ物を、宅急便で贈っていただけたら、感謝しつつもカンベンを。

ただ、快気祝いのときには、酒10本などを喜んで戴きますよ～(笑)。

春・秋

◇…先日、近所にある上尾警察署に行き、免許更新をした。ガハハハハハ～と高笑いしながら手にした新しい免許証は、30年ほど前に初めて免許を取得して以来の「ゴールド」！有効期限はこんどは5年先だ。

◇…また、愛車のホンダ・バモスもこの3月に車検をしてもらった。さらに、昨年



にはホームセンターに耐え切れずに公衆トイレで下着を換えたことも何度か。現在は、尿意を感じるとはやく全く手に負えず、ウツときてビッの即発状態。オムツをダブルにして着用し、タレ流しで吸収します。実は膀胱の蓄尿機能が低下しているため、オシッコは膀胱にはほとんど溜まらず、浸潤で大腸との間にできた「トンネル」を伝わって、オシッコの大部分がお尻から出てきます。そこに大腸の粘液などが混じり量も増えるので、日々のオムツ消費枚数は相当なものです」

◇…また、愛車のホンダ・バモスもこの3月に車検をしてもらった。さらに、昨年にはホームセンターに耐え切れずに公衆トイレで下着を換えたことも何度か。現在は、尿意を感じるとはやく全く手に負えず、ウツときてビッの即発状態。オムツをダブルにして着用し、タレ流しで吸収します。実は膀胱の蓄尿機能が低下しているため、オシッコは膀胱にはほとんど溜まらず、浸潤で大腸との間にできた「トンネル」を伝わって、オシッコの大部分がお尻から出てきます。そこに大腸の粘液などが混じり量も増えるので、日々のオムツ消費枚数は相当なものです」

◇…また、愛車のホンダ・バモスもこの3月に車検をしてもらった。さらに、昨年にはホームセンターに耐え切れずに公衆トイレで下着を換えたことも何度か。現在は、尿意を感じるとはやく全く手に負えず、ウツときてビッの即発状態。オムツをダブルにして着用し、タレ流しで吸収します。実は膀胱の蓄尿機能が低下しているため、オシッコは膀胱にはほとんど溜まらず、浸潤で大腸との間にできた「トンネル」を伝わって、オシッコの大部分がお尻から出てきます。そこに大腸の粘液などが混じり量も増えるので、日々のオムツ消費枚数は相当なものです」

◇…また、愛車のホンダ・バモスもこの3月に車検をしてもらった。さらに、昨年にはホームセンターに耐え切れずに公衆トイレで下着を換えたことも何度か。現在は、尿意を感じるとはやく全く手に負えず、ウツときてビッの即発状態。オムツをダブルにして着用し、タレ流しで吸収します。実は膀胱の蓄尿機能が低下しているため、オシッコは膀胱にはほとんど溜まらず、浸潤で大腸との間にできた「トンネル」を伝わって、オシッコの大部分がお尻から出てきます。そこに大腸の粘液などが混じり量も増えるので、日々のオムツ消費枚数は相当なものです」



すし、焼き鳥に、中華。美味いもん食って免疫力を向上しなくては





「感謝です」と丸山氏

GWだ 元気を出すぞ

「丸山さんは渡さねえ ならぬことは ならぬものです」



『上尾丸山新聞』の丸山兼也・企画外委員は「大丈夫。うまいもん食って免疫力を高めてください」と丸山氏にアドバイスした

今年2013年のGWは、まだまだお休みの日がいっぱい。でも、何をしようか予定のない人もいるかも。そこで『上尾丸山新聞』クロスメディア営業局企画部の企画外委員、丸山兼也さんに、これからのお出掛けにおすすめのスポットや、人知れず面白い内容のDVDなどを紹介してもらった。テーマは「丸山は負けなぞ!」。

あなたが 船を運んだのは～ のんびり旅をしたいから? 新日本海フェリー 舞鶴～小樽

船旅好きの丸山氏がかねて言っているのが「フェリーにバモスを積んでまた日本海を旅したい」。新日本海フェリー(SNF)には、京都・舞鶴～北海道・小樽を時速30ノット(時速55キロ)で結ぶ直行便



がある。丸山氏は既に福井・敦賀～新潟と、新潟～秋田～苫小牧、さらに新潟～小樽の航路にも乗ったことがあるSNFファン。「次は30ノットの超高速をぜひ試したい」と意欲満ちたのであった。

<http://www.snf.jp>

北海道に行ったらリベンジでここへ 二股ラジウム温泉

がん太郎発見のきっかけとなった2011年夏休みの北海道旅行。体調の異変はともかく、ここ長万部町(おしゃまんべ)の山奥にある



温泉は、泉質も施設もバツグンにすばしかった。食べ物を持ち込んだのだが、北海道だけあって味は抜群。こんどは湯治に行ってゆったりと療養するのだ。

<http://www.futamata-onsen.com/>

養殖いかだは流された でも必ず立ち直る 復興ガンバレ 三陸のホヤ



買ったばかりのホヤをさばいて刺身に、ボン酢で食べると、ものすごく美味だ。お酒好きにはたまらない。大津波で養殖事業が壊滅し、いままだ復興に向け奮闘中のホヤ養殖。復興がんばれ。養殖復興のあかつきには、バモスを飛ばして、ホヤをたらふく食べに行くぞ～!

バモスで出かけた2009年のキャンプ旅行のとき、道の駅で買って食べた

太平洋奇跡の作戦。圧倒的に不利な状況下、キスカ島守備隊を救出

DVD「キスカ」



アッツ島の玉砕はよく知られているが、その隣のキスカ島では、将兵の全員撤収に成功した。島は強力な米軍艦隊によって包囲され、近くの島の飛行場からは哨戒機が頻りに飛来して目を光らせて、そもそも、米軍には強力なレーダーがあって日本にはない。艦艇の残り少なくなった日本が駆逐艦をかき集めて救出に向かっても、キスカ島に着く前に発見されてしまうのは明かされた。だが、この救出作戦は成功した。島に入港する艦隊のラッパの響きが、がんとの戦いの勝利に通ずる。 <http://movie.walkerplus.com/mv/21476/>

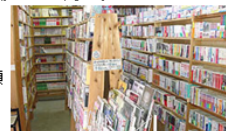
まばゆい新緑、雪解けの川、そして約200万冊もの古本の街

たもかく 本の街



☆5月10日まで「暮のふるほんまつり」開催中
…CD5枚1000円、DVD1枚500円で販売しています
…コミックは10冊で1000円
…新書と文庫は5冊で1000円です

只見ファンの丸山は、友人の吉津耕一さんが20年以上前に始めた「たもかく」が頑張っているのを見ると元気が出ます!



<http://www.azu-concierge.com/map/spot/10475/>

B級グルメの聖地 久留米の焼き鳥にハズレなし

鳥助/戦国/蘭風

「久留米の焼き鳥はとにかくうまくて安い」と丸山氏は感激している。なかでも3店を挙げると言われたら、この「鳥助」「戦国」「蘭風」かも。とかく「どんこラーメン発祥の地」として有名な久留米だが、B級グルメのもう一方の雄、焼き鳥も街を挙げて切磋琢磨し、丸山氏を応援しているようだ。



若手県陸前高田市の日帰り温泉施設 広田半島の先っぽにある

黒崎仙崎温泉

眼下の海を眺め、温泉オリジナルパールの焼酎を水割りでグビグビ。



2009年に愛車バモスで三陸をキャンプ旅行したとき、この温泉に入った。夕暮れどきの海を眺めながらお風呂で温まり、食事処からも海を見ながら一杯。夜は温泉下の海辺にテントを張って寝た。HPを見た、大震災から立ち直り、しっかり営業中のように。また行きたい。がんばれ陸前高田。

<http://www.kurosaki-onsen.com/>

癌勢を強化して研究加速だ

久留米大学「がんワクチンセンター」

ちょうど久留米に行っていた4月14日(日)、地元の西日本新聞の1面トップにこんな記事が載っていてビックリした。「がんワクチン拠点開設 研究・診療態勢を集約 医薬品承認へ治療加速 久留米大、7月」。すばらしい!

首都圏進出を勝手に期待

既に丸山も含むがん患者がワクチン注射を受けるため全国各地から久留米へ足を運んでいる。記事を見て勝手に思ったのだが、久留米大はこの勢いを駆って、ぜひとも首都圏に新たな拠点を設けてほしい。通院が楽になるし、認知度も高まる!

<http://www.nishinippon.co.jp/nnp/item/358245>



編集後記

戦いはかみさんと2人で チーム名は「ハライタウナギ」
△…抗がん剤治療の重しが外れたせいか、このころ、がん太郎氏が最も警戒するのが、原発巣である大腸を根城にするがん太郎が、隣接する小腸にチョッキを出しはしないか、という点だ △…いまは元気な小腸が、なんらかの方法でがん太郎の攻撃を受ければ、例えば圧迫されて腸閉塞になって、ごはんが食べられなくなってしまう。実は昨夜、重い痛さではないが、お腹が少しばかりシクシクした。当面はお腹シクシクの「ハライタ」の動向に注意したい △…ラグビー全日本のウイング宇野澤選手は、ボールを持つとゴールライン目指してまっすぐ進みながら、タックルに來る敵選手を「ウナギ」のようにヌルヌルかわして突進。そう、これだ! ハライタ野郎がタックルに來ても、「ハライタウナギ」の2人はゴールライン目指して突進だ! 以上、今朝に思い付いたばかりのイメージです。

http://www.youtube.com/watch?v=NRXlko21_I